

**Idiomatic Japanese**  
**The Secret of Advanced Japanese**  
**Volume 2**

Let's learn Idiomatic Expressions of Japanese

---

---

**Hilofumi Yamamoto**  
*Ph. D. in Linguistics*

日本語らしい日本語: 上級への道 Volume 2

The Difficult Lesson

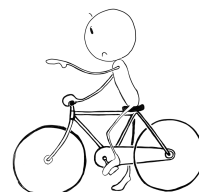
1884 by William-Adolphe Bouguereau (1825–1905)

Hilofumi Yamamoto, Ph.D. in Linguistics, Tokyo Institute of Technology

© Hilofumi Yamamoto, 2019

# はじめに

本書は edX MOOCs 東京工業大学オンライン教育開発室による日本語の教科書である。言語の勉強にはコツがあります。詳細なところにこだわらないことである。どうしても良いと考えることに慣れることも必要である。自転車の構造をいくら勉強しても、自転車には乗れない。自転車の構造を知らないで自転車に乗っている人はたくさんいる。自転車を見ているだけでは、自転車に乗れない。とにかく自転車に乗らなければ、乗れるようにはなれない。やってみよう。



山元啓史

東京工業大学教授



# 目次

第 1 章	さあ、はじめよう	1
第 2 章	解説編	13
付録 A	推薦するもの	51
付録 B	英訳	53
索引		57



## 第 1 章

さあ、はじめよう

なまえ \_\_\_\_\_

161. この品物しなものは、産地直送さんちちよくそう( )のご奉仕価格ほうしかかくです。

162. これは試験勉強しけんべんきょうに ( ) の参考書さんこうしょだ。

163. 彼かれがこんなに必死ひっしに言うのだから、これは ( ) うそではあるまい。

164. 今までががんばってきたのに、( ) やめるなんて何なにを言いっているんだ。

165. 食べ放題た ほうだいだといっても、どんなにたくさん食たべても、食たべて ( ) 3杯ばいぐらいだろう。

166. あまり高たかい値段ねだんをつけると商品しょうひんの ( ) が悪わるくなる。

167. 相手あいてとの考かんがえの違ちがいが大きおおくて ( ) にならない。

168. どんなにがんばっても、悪口わるくちを言いわれるのが ( ) だ。

169. 誰だれもやってくれないので、( ) 自分じぶんでやった。

170. 事業じぎょうが計画けいかく通り進すすまないのは、資金しきんが不足ふそくしている ( ) 、他ほかからの妨害ぼうがいがあったからだと思おもわれる。



なまえ \_\_\_\_\_

171. なんとか ( ) いても、やっぱり自分しか信用できませんね。

172. よくわからないんですが、年金問題が ( ) っている話題だったと思うんですが...

173. そりゃー、面白いのって ( ) って、腹がはちきれんばかりでしたよ。

174. こんな大切な話を二人 ( ) で、 ( ) 話合っていたんだってよ。

175. この政治家の企みは、野党の非難を浴びたに ( ) 、全国民の反感までも ( ) しまった。

176. 癌というのは、急に発病するという種類の疾病ではなく、日一日と、患者の健康を ( ) 、  
やっかいな ( ) の病である。

177. この辺は冬はひとけのないさびしい町だが、夏は海水浴シーズンになると派手な水着の若者たちで  
( ) 。

178. イギリスのハイド・パークでは、毎日見知らぬもの同士が議論に ( ) ている。

179. 小さなタバコの火が原因で山一帯が火の ( ) になった。

180. 木造の家などは一度火がつくと ( ) うちに灰となっていく。

なまえ \_\_\_\_\_

181. ものすごいとは ( ) には ( ) が、こんなにすごいとは思わなかったよ。

182. ( ) と思っ<sup>おも</sup>てたことがかえって、あの人を不幸<sup>ひと ふこう</sup>にしてしまった。

183. この次<sup>つぎ</sup>のテストは、その辺<sup>へん</sup>の本<sup>ほん</sup>に書<sup>か</sup>いてあったことをいいかげんに書<sup>か</sup>いて ( ) にごそう。

184. 親<sup>おや</sup>に実力<sup>じつりょく</sup>以上の期待<sup>きたい</sup>を ( ) た子供<sup>こどもたち</sup>達の自殺<sup>じさつ</sup>が増えて<sup>ふ</sup>いる。

185. この喫茶店<sup>きっさてん</sup>にはコーヒーのかおりだけでなく店<sup>みせ</sup>の雰囲気<sup>ふんいき</sup>も ( ) に来<sup>き</sup>ている客<sup>きやく</sup>が多い<sup>おお</sup>。

186. あかちゃんが産<sup>う</sup>まれて初<sup>はじ</sup>めて、父親<sup>ちちおや</sup>としての実感<sup>じっかん</sup>が ( ) てきた。

187. 私<sup>わたし</sup>は料理<sup>りょうり</sup>はしない ( ) ないが、一人<sup>ひとり</sup>のときは面倒<sup>めんどう</sup>なのでたいてい外<sup>そと</sup>で食<sup>た</sup>べる。

188. あの人<sup>ひと</sup>は東京<sup>とうきょう</sup>へ行<sup>い</sup>った ( ) で、もうここにい<sup>い</sup>ないそうだ。

189. 彼<sup>かれ</sup>は呼<sup>よ</sup>ばれ ( ) しない ( ) 、黙<sup>だま</sup>って私<sup>わたし</sup>の部屋<sup>へや</sup>に入<sup>はい</sup>ってきた。

190. 本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>によく勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>した ( ) 、よ<sup>せい</sup>い成<sup>せい</sup>績<sup>せき</sup>がとれたのだ。

なまえ \_\_\_\_\_

191. 驚く ( <sup>おどろ</sup> ), よろこぶ ( <sup>かいじょう おおさわ</sup> ), 会場は大騒ぎだった。
192. 一つ一つ片付けていかない ( <sup>かたづ</sup> ) には、収まらない。 <sup>おさ</sup>
193. どういう ( ) の吹き回しなんでしょう。あの人が御歳暮を持ってくるなんて、...。 <sup>ふ まわ</sup> <sup>ひと おせいぼ も</sup>
194. 大きくなったら、( ) ても人様のご迷惑になるような人になってはなりませんよ。 <sup>おお</sup> <sup>ひとさま</sup> <sup>めいわく</sup>
195. 国のお金を使い込むなんて、あの人は ( ) 総理大臣なんかではない。 <sup>くに かね つか こ</sup> <sup>ひと</sup> <sup>そうりだいじん</sup>
196. 悲しみの ( ) 、泣くこともできず、無表情で座り込んでしまった。 <sup>かな</sup> <sup>な</sup> <sup>むひょうじょう すわ こ</sup>
197. 所得税の減税をする ( ) で、その財源確保のために消費税を増税した。 <sup>しよとくぜい げんぜい</sup> <sup>ざいげんかくほ</sup> <sup>しよひぜい ぞうぜい</sup>
198. こうなった ( ) は、思い切ったリストラをして、経営を立て直すしかない。 <sup>おも き</sup> <sup>けいえい た なお</sup>
199. 飲み ( ) のコーヒーをコンピュータの横に置いて仕事をしていたら、こぼしてしまった。 <sup>の</sup> <sup>よこ お</sup> <sup>しごと</sup>
200. 超能力で犯人を捜し出せるなどというのは、信じ ( ) 。 <sup>ちやうのうりよく はんにん さが だ</sup> <sup>しん</sup>

なまえ \_\_\_\_\_

201. 寒さを ( ) ともせず、彼は薄着で出かけていった。
202. その選手にとって、100勝という数字は ( ) 通過点にすぎないだろう。
203. 若者言葉は貧弱だ、流行語など取るに ( ) と考えるのは老化した大人の偏見だ。
204. 金をかければ、必ずよいものができるという意見があるが、私たちはこれには賛成し ( ) 。
205. その彫刻家は、何 ( ) として今までに完璧だと実感できる作品はなかったという。
206. その店は猫の額ほどの店で、客が五人も入れば身動きが ( ) なる。
207. 彼の死は「私が ( ) 、誰がやる」といって、立ち上がった矢先の不幸であった。
208. その選手は、プロ野球界の表も裏も知り ( ) いるつもりだったが、裏方で自分たちを支えている人々の存在にはまったく気がつかないでいた。
209. 黒い袋で中身が見えないのを ( ) ことに、危険物や非常識な汚物を平気で捨てる人が後をたたなかった。
210. 世界遺産としての保存を訴える被爆者の声を ( ) に、ヒロシマを伝えるものが消えてゆくところであった。

なまえ \_\_\_\_\_

211. 中<sup>ちゅう</sup>程<sup>てい</sup>度<sup>ど</sup>の豪<sup>ごう</sup>雨<sup>う</sup>であつたが、短<sup>たん</sup>時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>であつたために各<sup>かく</sup>地<sup>ち</sup>で川<sup>かわ</sup>が氾<sup>はん</sup>濫<sup>らん</sup>したと ( )。
212. 書<sup>か</sup>い ( ) 消<sup>け</sup>し、書<sup>か</sup>い ( ) 消<sup>け</sup>して、作<sup>さく</sup>品<sup>ひん</sup>を仕<sup>し</sup>上<sup>あ</sup>げてい<sup>い</sup>つた。
213. 焼<sup>や</sup>け酒<sup>ざけ</sup>で一<sup>いっ</sup>升<sup>しょう</sup>ビン<sup>びん</sup>の酒<sup>さけ</sup>を飲<sup>の</sup>み干<sup>ほ</sup>そうと思<sup>おも</sup>つても、日<sup>ひ</sup>頃<sup>ごろ</sup>飲<sup>の</sup>まぬ私<sup>わたし</sup>では、飲<sup>の</sup>ん ( ) 飲<sup>の</sup>ん ( ) なくならない。
214. 早<sup>はや</sup>く打<sup>う</sup>ち明<sup>あ</sup>ければ ( ) のに、ま<sup>い</sup>だ言<sup>い</sup>えな<sup>い</sup>いで<sup>い</sup>る。
215. 疲<sup>つか</sup>れき<sup>き</sup>つて、ぐっすり寝<sup>ね</sup>込<sup>こ</sup>んで<sup>い</sup>る ( ) を起<sup>お</sup>こさ<sup>さ</sup>れ、機<sup>き</sup>嫌<sup>げん</sup>が<sup>わ</sup>る<sup>る</sup>くな<sup>な</sup>つた。
216. この二<sup>ふた</sup>人<sup>たり</sup>の作<sup>さつ</sup>家<sup>か</sup>は、( ) もな<sup>く</sup>中<sup>ちゅう</sup>堅<sup>けん</sup>の<sup>じつ</sup>力<sup>りき</sup>派<sup>ぱ</sup>の<sup>な</sup>に恥<sup>は</sup>じ<sup>し</sup>ない<sup>い</sup>小<sup>しょう</sup>説<sup>せつ</sup>家<sup>か</sup>であ<sup>あ</sup>つた。
217. 三<sup>さん</sup>人<sup>にん</sup>の子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>た<sup>た</sup>ち<sup>は</sup>、思<sup>おも</sup>い ( ) にこ<sup>い</sup>の<sup>ち</sup>一<sup>いち</sup>年<sup>ねん</sup>の<sup>たの</sup>楽<sup>らく</sup>し<sup>し</sup>か<sup>か</sup>つた<sup>おも</sup>想<sup>で</sup>い<sup>に</sup>出<sup>つき</sup>を<sup>つづ</sup>日<sup>に</sup>記<sup>じ</sup>に<sup>つづ</sup>綴<sup>づ</sup>つた。
218. 今<sup>こん</sup>場<sup>ば</sup>所<sup>しょ</sup>は初<sup>しょ</sup>日<sup>にち</sup>から二<sup>に</sup>横<sup>こ</sup>綱<sup>づな</sup>が ( ) 、やぶれるとい<sup>い</sup>う波<sup>は</sup>乱<sup>らん</sup>続<sup>つづ</sup>きの幕<sup>まく</sup>開<sup>あ</sup>けであ<sup>あ</sup>つた。
219. 実<sup>じつ</sup>験<sup>けん</sup>を数<sup>すう</sup>回<sup>かい</sup>繰<sup>く</sup>り返<sup>かえ</sup>したと<sup>と</sup>ころ、着<sup>ちや</sup>火<sup>つか</sup>は<sup>は</sup>す<sup>す</sup>る ( ) すぐ<sup>ひ</sup>に火<sup>き</sup>は消<sup>き</sup>える<sup>わ</sup>ことが<sup>わ</sup>分<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>つた。
220. この先<sup>さき</sup>ど<sup>ど</sup>のよ<sup>よ</sup>うに<sup>に</sup>す<sup>す</sup>る<sup>は</sup>か<sup>は</sup>、( ) に決<sup>け</sup>定<sup>てい</sup>した<sup>ほう</sup>法<sup>あん</sup>案<sup>もと</sup>を<sup>けん</sup>元<sup>とう</sup>に<sup>と</sup>検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>する<sup>の</sup>こと<sup>と</sup>であ<sup>あ</sup>つた。

なまえ \_\_\_\_\_

221. そんな大変なたいへんことになっているとは ( ) 知らず、家でゆっくりビールでも飲のんでいました。

222. 父が事故じこにあったと聞いて、( ) 立たってもいられず、すぐに飛行機ひこうきに飛び乗のった。

223. とても難むずかしいとは思おもいますが、あきらめずに、( ) でやってみましょう。

224. いいとは思おもうけれど、高たかい品物しなものなので買かってもいいかどうか、かみさんきに聞いてみない ( ) 。

225. そんなにやすやすと子供こども( ) の手てには乗のるもんか。

226. その歴史的瞬間れきしてきしゆんかんをじっと息いきを ( ) テレビで見ていました。

227. 水着みずぎのデザインが古ふるくさかったので、失礼しつれいだったかもしれないが、笑わらわずには ( ) 。

228. 自分じぶんのことで ( ) 一杯いっぱいなのに、これ以上いじょう、他ほかの人ひとの世話せわなんてできません。

229. 子供こどもが喜よろこぶぶのはいいことだが、こんなにはしゃぎすぎるも考かんがえ ( ) だね。

230. 今晩こんばん( ) に待まった初はつの世界陸上日本開催せかいりくじょうにほんかいさいにわくわくドキドキしている。

なまえ \_\_\_\_\_

231. それがいいかどうかは、時<sup>とき</sup>と場合<sup>ばあい</sup>に ( )。

232. 彼<sup>かれ</sup>には絵<sup>え</sup>を見る<sup>み</sup> ( ) がありますね。

233. 物理学者<sup>ぶつりがくしゃ</sup>が明<sup>あき</sup>らかにしようとしているものは、何<sup>なに</sup>を隠<sup>かく</sup>そうわれわれが日常<sup>にちじょうてき</sup>的に生<sup>い</sup>きているこの自然<sup>しぜんかい</sup>界<sup>かい</sup>に ( ) ならない。

234. 先週<sup>せんしゅう</sup>「私<sup>わたし</sup>の仕事<sup>しごと</sup>で日本<sup>にほん</sup>の政治<sup>せいじ</sup>をきつとよくして ( ) ます」と言<sup>い</sup>っていた政治家<sup>せいじか</sup>が、今日<sup>きょう</sup>、汚職<sup>おしよくじけん</sup>事件<sup>たいほ</sup>で逮捕<sup>たいほ</sup>された。

235. 「( ) 1名<sup>めい</sup>いろいろうるさいことをいう人<sup>ひと</sup>がいますので、あまりやりたくはないけれどもやりました。」「それって、わたしのこと？」

236. 結婚<sup>けっこん</sup>って ( ) から見て<sup>み</sup>いる分<sup>ぶん</sup>には、幸<sup>しあわ</sup>せいっぱいに見<sup>み</sup>えるけど、実<sup>じっさい</sup>際に結婚<sup>けっこん</sup>する人<sup>ひと</sup>の立場<sup>たちば</sup>になつてみると、結構<sup>けつこう</sup>めんどうなことばかりだ。

237. 彼<sup>かれ</sup>は決<sup>けつ</sup>して人前<sup>ひとまえ</sup>で泣<sup>な</sup>き ( ) を漏<sup>も</sup>らすような人<sup>ひと</sup>ではない。

238. 国<sup>くに</sup>の政治<sup>せいじ</sup>の目的<sup>もくてき</sup>は首相<sup>しゅしょう</sup>の ( ) を立<sup>た</sup>てることではないはずだ。

239. 結婚<sup>けっこんしき</sup>式<sup>しき</sup>が終<sup>おわ</sup>ったばかりで ( ) なんですけど、実<sup>じつ</sup>は、きのう、私<sup>わたし</sup>たち<sup>あか</sup>に赤<sup>あか</sup>ちゃんができたことがわかりましたので、ご報告<sup>ほうこく</sup>させていただきます。

240. 昨日<sup>きのう</sup>、思<sup>おも</sup>いも ( ) ところ<sup>ひと</sup>で、なつかしい人<sup>ひと</sup>に出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>った。

なまえ \_\_\_\_\_

241. 会社は倒産し、大きな借金を抱えて、妻には離婚され、何をどうすればいいのか ( ) に暮れてしまった。

242. 新しく買ったブーツを ( ) もあろうに、雨の日に覆くことになるなんて、まったくついていない。これなら、ゴムの長靴でもよかった。

243. 私は子供の時、あまのじゃくで、ひねくれていて、( ) のつけられないいたずらっ子だった。

244. 言いたいならば、はっきり言えればいいのに、いつも ( ) に物のはさまったような言い方をする人だ。

245. 事態が深刻にならないうちに、早急に次の ( ) を打つ必要がある。

246. ( ) が漫才師の言ったことに腹を立てる評論家の方がばかである。

247. 仕事はもう一晩もあれば、完成だろうと ( ) を括っていたのが、大失敗だった。

248. 「どこの ( ) の骨かわからん奴に、うちの娘は嫁にやらんぞ」と言っていた父が結婚式では、大泣きだった。

249. 机の上も部屋もきれいになって、準備 ( ) 、さあ、あとは明日の試験勉強をするだけだ。

250. 彼は学生時代、自分自身を ( ) 漬けの天才と呼んでいたが、それは謙遜で、彼の母親によると本当は毎晩遅くまで勉強していたそうだ。



なまえ \_\_\_\_\_

251. 何が ( <sup>なに</sup> ) でもこの仕事はやり遂げなければならない。

252. 高級品は長く使うものですから、派手な色や奇抜なデザインを避けて、( <sup>こうきゅうひん</sup> <sup>なが</sup> <sup>つか</sup> <sup>は</sup> <sup>で</sup> <sup>いろ</sup> <sup>きばつ</sup> <sup>さ</sup> ) が来ない色や  
デザインを選んだ方が無難ですね。

253.



## 第2章

## 解説編

91. 9時のニュースを見ようと思っていたのに、本にAになって、Bてしまった。

□ A 夢中; B 見過ごし、忘れ

◆「～に夢中になる」は「夢の中に入って」という意味ではない。〈～することだけに全部の気持ちが向かってしまう〉という意味。「夢中で～する」「～したときは夢中だった」のような使い方がある。

- 仕事に夢中になって、つい家へ帰るのが遅くなってしまった。
- おもしろい論文のテーマが見つかって、夢中で調べ始めた。
- 大人も子供もコンピュータゲームに夢中になっている。

◆「見過ごす」には次の2つの意味がある。上の例は見ていながら、そのまま見ないふりをしておく、見逃す、見損なう ← 見るときが過ぎる

- いくら自分が忙しいからといって、友達が困っているのを見過ごすわけにはいかない。
- 掲示板には大事なことが書いてあるので、見過ごさないように注意してください。

92. それまで毎日遊んでいたのに、急に人が  ように真面目に勉強しはじめた。

□ 変わった

◆「56. 手のひらを返すように」は人間関係の中で態度が急に悪くなる場合にだけ使うが、「人が変わったように」は〈別の人間になったように〉と、いい方へも、悪い方へも性格が変わった場合、使う。上の例文では、心を入れ換えて、新しい人間になったように、という意味。

- 太郎さんは、このごろ人が変わったように仕事に意欲的だ。
- 高校時代勉強しなかった娘が、浪人したら、人が変わったように猛勉強を始めた。

93. 父はアルコール中毒なので、お酒なしでは一時（いつとき）も  ない。

□ 過ごせ

◆「過ごす」は〈時間を送る〉〈暮らす〉の意味。

- 楽しい一時（ひととき）を過ごしました。
- みなさまいかがお過ごしですか。（手紙文）
- ドイツではブレーメンの友達の家でしばらく過ごした後、ミュンヘンに行きました。

94. 現代では家族全員そろって食事をする風景など、まず\_ない。

☐ 見られ、お目にかかれ

◆「お目にかかる」は〈会う〉の謙譲語で、「お目にかかれない」というのは〈会うことができない〉という意味だが、少し批判的な気持ちで、皮肉に〈見ることができない〉という場合に、このような使い方もある。「まず～ない」はこの場合、〈めったにない〉という意味。

- 近頃、電車の中でお年寄りに席を譲る人など、めったにおめにかかれない。

95. 統計によると、全員そろって食事をする家庭はわずかに8%に\_。

☐ 過ぎない

◆「わずか（に）～に過ぎない」で、その量が思ったより少ないことを言う。

- 最初30人いたのに、最後までクラスに残ったのはわずか5人にすぎない。
- あの人は日本語が上手ですが、クラスで勉強したのはわずか2週間にすぎないんですよ。

96. 日曜日なのに、雨も降っているし、お金もないし、家で寝るより\_。

☐ ほかない

◆「ほかない」は〈他に方法がなく、することができるのは～だけだ〉の意味。

- 冷凍庫が故障してどんどん中のものが解け始めた。これは、どんどん料理して、食べるよりほかない。
- しまった日曜日なのにお金をおろしわすれた。これは、家でじっとしているほかない。

97. 彼はまさか外国人では\_。

☐ あるまい

◆「まさか～ではあるまい／～するまい」で、〈私は～だとは思わないし、事実～ではないだろう、しかし、ちょっとその自分の判断が不安だ〉という意味。

- 毎晩帰りが遅いけど、まさか不倫しているんじゃないでしょうね。
- いくら失恋したといっても、まさか自殺まではするまい。

98. \_声楽科の学生だけあって、普段の声もいいですね。

☐ さすが

◆「さすが～だけあって、…」は〈～であるから、やはり、…〉で、…の部分のpositive（＋イメージ）な事柄がくる。「さすが」と一言で、〈すばらしい〉の意味に使われるが、この場合は、前々からすばらしい能力の人だとはわかってい

たが、やっぱりすばらしい能力だと、再確認した、という意味で誉めている。

- (いつもカラオケが上手な人の歌の後)「うまいね。さすがだね。」
- 「さすが山田さんだけあって、難しい歌が上手だね。」

99. あなたが悪いのだから、あなたが謝る\_と思う。

☐ べき、のが当然だ

◆ 「べき」は「当然～しなければならない」の意味。

- そんなにすぐにあきらめないで。自分のベストを尽くすべきだと思うわよ。
- 国は安心して老後が暮らせるように、福祉を充実させるべきだ。

100. 1000円は A、10円玉 B もないのだから、いくら C と言われても返せない。

☐ A おろか、もちろん; B さえ; C 返せ

◆ 「おろか」 さえも→51 いくら～ても→11

- その町は死んだように静かで、人はおろか、犬一びきさえいなかった。
- コンピュータはおろかワープロさえさわったことがない。

101. こんなに激しい雪では、出かけようにも\_。

☐ 出かけられない。

◆ 「～(よ)うにも、.... られない。」は「そうしようと思っても、何かの事情でそれができない」という意味。このように、いつも文末は否定の可能形となる。

- 値段が高すぎて買おうにも買えない。
- 頭が痛くて、起きようにも起きられない。
- あまりにも疲れすぎていたので仕事をしようにもできなかった。
- こんな難しい問題では答えようにも答えられない。
- 写真が壁にはってあって、彼を忘れようにも忘れられない。
- とりの部屋の人たちがあまりにもうるさかったので、寝ようにも寝られなかった。
- さっき、調理師が料理中にくしゃみをしたのを見たので、この料理は食べようにも食べられない。

102. あんな社長に文句を言った\_で、聞いてくれるわけがない。

☐ ところ

◆ 「～たところで、.... ない。」は「～ても」と同じような意味で「たとえ～が実現したとしても、.... ない。」いつも文末は否定的な意味が来る。

- どんなに本をたくさん買ったところで、読まなければなんにもならない。
- 今から急いだところで、もう遅いでしょう。
- いまさらレポートを提出したところで、いい点数は取れないはずだ。
- この会社に電話をかけたところで、社長に会えないだろう。
- 怒っている妻に正しいことを言ったところで聞いてくれるわけがない。

- もうこれ以上話し合ったところでむだだ。
- 政府が景気の底入れを宣言したところで、国民はそれを信じない。
- 今さら嘆いてみたところで始まらない。
- お父さんに車を買うお金を頼んだところで、くれるわけがないと思う。
- 悪い商品なので、いくら広告したところで、なかなか売れなかった。
- いくら働いてみたところで、こう物価が高くては、生活は楽にはなりません。

103. 手紙を一通よこした、何の音沙汰もない。

☐ きり

- ◆ 「～たきり、....。」「～の行動がそれで最後になった。その後は何も行動や状況の変化がない。「きり」は句切りの「きり」で、これが最後という意味。
- 外国へ行ったきり、連絡がない。
- 彼は大切な本を借りていったきり返さない。
- 三年くらい前、彼とあったきり、会っていない。
- 彼は卒業したきり、学校へ一度も来ない。
- 2年前にふるさとにいる友だちを見たきり、何の音沙汰もない。
- あれっきり彼に会わない。
- 先月お酒を飲んだきり、今まで一度も飲んでいない。
- あの人は倒れたきり、起き上がらなかった。
- ずっと前に離婚したきり、あとはひとり暮らしです。

104. この部屋を遊ばせて、のはもったいない。

☐ おく

- ◆ 「～ておく」には「今の状態をそのままにして保つ」という意味と、「後のために今準備として何かをする」という意味とある。遊ばせておく、というのは「何にも利用しないで、役に立っていない状態に保つ」という意味。
- あの体育館を遊ばせておくのはもったいない。
- 空いている部屋を学生達に自由に使わせておくのが合理的だと思う。
- その人を待たせておきなさい。
- 彼女の好きなようにさせておけ。
- まだ時間があるから、彼をそのまま眠らせておいてもいいでしょう。
- 結論を出す前にみなによく考えさせておいた方がいいと思う。
- 出発するまで時間があるので、子供たちを遊ばせておきましょう。
- こんなおいしそうなお菓子を食べさせないでおくのは、精神衛生に良くない。

105. 明治生まれの画家は、彼一人であった、彼の死は大いに悔やまれる。

☐ だけに

- ◆ 「～だけに、...」というのは、～という事実がなければ、それほどでもないのだが、～という事実があると、一層よけいに... だ、という表現。

- とってもステキなコンサートであっただけに、おこづかいを全部はたいてでも、もう1回見に行きたい。
- もうすこしで捕まえるところであっただけに、逃げられてしまって残念でした。
- あともう少し頑張れば山頂に着くところであっただけに、やめてしまって残念だ。
- この陶磁器は一つしかないものだけに、大切に扱うべきだ。
- 期待していなかっただけに、喜びも大きい。
- あの横綱は全勝するところであっただけに、昨日の一敗は残念です。
- 日本のワールドカップにかけた期待が大きかっただけに、失望も大きかった。
- 一生懸命努力していただけに、試験に落ちたのは残念だ。

106. 私の不注意で、子どもに大怪我を\_しまった。

☐ させて

- ◆ 使役形について復習しておこう。「先生が学生に答えを言わせた。」というような、他の人に命じてさせる、という使役表現の他に、「とても行きたがったので、ロックコンサートに行かせました。」のように許可の表現がある。この例は、命令でも、許可でもない。相手に自分の責任で不利益を引き起こした時に使う使役表現は、自分の責任を認めて、詫びる気持ちがある。そのため、これは、目上の人について話すときも使える。
- 先生をお待たせするといけませんから、私は早く行きます。
- 待たせてしまってごめんね。むだな時間を使わせてしまってすみませんでした。
- 「散財させてしまって申し訳ございませんでした。」「いいえ」
- 課長の経営能力の欠如のために、計画をむだぼねに終わらせてしまった。
- パイロットの不注意で、飛行機を墜落させてしまった。
- 私が時間を守らなかったために、みんなを待たせてしまった。
- いつまでも泣いて、友だちを困らせてしまった。
- タイに旅行したとき、タイの友だちにお金をたくさん使わせてしまった。
- 論文がなかなか書けなくて、先生を困らせてしまった。

107. 彼は風邪をひいたにも\_、マラソン大会で優勝した。

☐ かかわらず

- ◆ 「～にもかかわらず、....する」「～のに」と同じ文脈で使えるが、「のに」がくだけた会話文で使うのに対して、「にもかかわらず」は硬い表現で、書き言葉で通常は使う。また、「のに」は主観的な感じがするが、「にもかかわらず」は客観的な表現である。

「のにも関わらず」のように「の」を入れても使う。「調べた(の)にもかかわらず」「親切(なの)にも関わらず」「寒い(の)にもかかわらず」「病気(なの)

にもかかわらず」

- 失敗したにもかかわらず、一生懸命やっている。
- 度々注意したにもかかわらず、失敗した。
- 彼は明日が試験であるにもかかわらず、遊んでいる。
- 彼は体の具合が悪いのにもかかわらず、試合に参加するそうだ。
- 足を折ったにもかかわらず、うちまで歩いて帰りました。
- クーデターがあったにもかかわらず、レポーターは、まだ仕事をやっている。
- 政府が不景気から抜け出すために多くの措置をとっているのにもかかわらず、景気は低迷が続けている。
- 二人はお互いに愛しているにもかかわらず、父母の反対で結婚できません。
- 試験があるにもかかわらず、彼女はマラソン大会に出場すると決心した。
- 雨が降っているにもかかわらず、傘もささずに出て行った。
- 日曜日にもかかわらず、出勤だ。
- 資本が少ないにもかかわらず、彼の会社は成功した。

108. 病院に見舞いに行く、もう少し元気になってからにしない。

□ なら

◆ 仮定の表現で、「Pを実現できると仮定する。then Q」

(A) 会話では、相手のいったことを受けて、「〈相手のいったこと〉なら～」と使うことが多い。この時、短く言いたいときは、「それなら」と言えばよい。仮定の意味はあまり深く考えない方がよい。また、自分の方から、(B) 希望・条件を「～なら」と提案するのにも使う。

(A)(B) 君が行くなら、ぼくも行こう。

(A) 暑いなら上着をぬぎなさい。

(A) 買い物に行くなら、週末は混むから平日に行った方がいいよ。

(A) コピーに行くなら、私の分までお願いします。

(A) 私立学校を作るなら、もっとたくさん寄付金をもらわなければならない。

(A) タイへ旅行するなら、面白い所を教えてあげますよ。

(A) 日本へ行くなら、行く前に日本語を勉強したほうが便利ですよ。

(A) この授業に出たいのなら、まず担任の先生に相談してみてください。

(A) 東京へ行くなら、電車のほうが便利だ。

(A)(B) 写真をとるなら、私のカメラを貸してあげますよ。

(A)(B) 明日なら、都合がいいです。

(A) ジョギングをするなら、昼間より早朝にするのが良い。

109. 原子力はそれ以後新しいエネルギーとして注目を\_ようになった。

□ 集める／浴びる／される

◆ 注目を浴びる／集める／される



- 男性がそんな鮮やかな服を着たら、注目されるに違いない。
- その事件は世間の注目を浴びるようになった。
- 一度テレビに出ただけで、彼はマスコミの注目を浴び、有名になった。
- 飛行機は将来の交通機関として、注目を浴びるようになった。
- 環境問題は人間に関係があるとして注目を浴びるようになった。
- 東南アジア、特にタイとマレーシアは日本企業の主要海外投資対象地として注目を浴びるようになった。
- 日本のコメ輸入問題が世界の問題として注目をあびるようになった。
- その本を出版した後で、著者は注目されている。
- 彼はだんだん脚光を浴びる歌手になった。
- 彼は『夜』という小説で脚光を浴びて、いつも新聞に出た。

110. もうちょっとで、傘を電車で忘れる\_でしたよ。

□ ところ

◆ 「忘れるところだった」というのは「忘れそうだったけど、忘れなかった」という意味。

- もうちょっとでかぎを落とすところだった。
- もうちょっとで財布をとられるところでした。
- もうちょっとで車とぶつかるところだった。
- もう少しで、駅に行く道を行き過ぎるところだった。
- ひょっとすれば大変な事になるところだった。
- もうちょっとで傘を電車で忘れるところでしたよ。
- 日本はあのサッカーの試合で、もう少しで優勝するところでした。
- 料理をする時、もうちょっとで手を切るところでした。
- 朝寝坊をして、危うく電車で乗り遅れるところだった。
- すんでのところで、自動車にはねられるところでした。
- もう少しでやり終わるところなのに、先生に試験問題を出させられてしまった。

111. そばかうどんか、さんざん迷った\_、結局カレーライスを食べた。

□ あげく（挙げ句）／すえ／結果

◆ 「いろいろやってみたがその結果、結局」という意味「さんざん迷う」は“あれか、これか、いろいろと決められない”という意味。

- 田中さんはどれにしようかとさんざん迷ったあげく、赤い色のセーターにした。
- 何年も悩んだあげく、結婚はしないことにした。
- 映画かコンサートかさんざん迷ったあげく、結局家でテレビを見ることにしました。
- いろいろ薬を飲んだあげく、死んでしまった。

- 気違いのように勉強し、あげくの果てに本当に狂ってしまった。

112. 夏の暑い日には、ビアガーデンで冷えたビールをのむに\_。

☐ 限る

◆ このような文脈では、「これが一番いい」という意味。

- かぜをひいたときには、たくさん寝るに限る。
- 酒はあつかん（熱燗）に限る。
- パーティはにぎやかなのに限る。
- わからない問題は、ほかの人に聞くに限る。
- 病気の時は、寝るに限る。
- 中華料理は熱いうちに食べるに限る。
- 年末年始は家で家族と静かに過ごすに限る。
- 日本の冬はこたつに限る。
- 友達は誠実な人にかぎる。

113. こうした科学文化の現象は、いったい人間にどんな影響を\_であろうか。

☐ 及ぼす／与える／もたらす（の）

◆ 「影響を与える」「影響を及ぼす」はイディオム

- 交通ストはたくさんの人に影響を及ぼす。
- 大人の話は子供に影響を及ぼす。
- 母語は個人の考え方に影響を及ぼす。
- 現代の暴力的なテレビ番組は、子供の形成にどんな影響を与えるであろうか。
- 天気は人の気持ちに大きな影響を与える。
- A P E Cは、一体世界に特にアジアにどんな影響を及ぼすだろうか。
- 受験地獄は学生達にどのような影響を与えるでしょうか。
- 運動の筋肉に及ぼす影響について研究しています。

114. あなたが\_と、行くまいと、私には関係（の）ないことだ。

☐ 行こう

◆ 「～ようと～まいと」 part 1-35

- 笑われようと笑われまいと、かまわない。
- しょうと、しまいとあなたの勝手ですが、自分の責任でやってください。
- 生活が苦しい父母は、子供が学校に行こうと行くまいと関心がない。
- あなたが信じようと信じまいと、これは実際にあったことだ。
- 病気になろうと、なるまいと、締め切りまでに提出しなければならない。
- これから得点しようとしまいと勝てない。
- あなたが就職しようとしまいとあなたの勝手です。
- 捨てようと捨てまいと、それはあなたが買ったものだから、私はかまいません。

115. 来ていないのは山田さんだけで、バスは出発する\_になっている。

□ ばかり

◆「～ばかりになっている」で“準備は全てできている”という意味。

- コンピュータに入っていますから、あとはプリントするばかりになっています。
- 正月の準備はすべてととのい、あとは除夜の鐘を聞くばかりになっている。
- 出かけるばかりになっていたのに、今日のパーティーは中止という電話がかかってきた。
- 日本への留学準備がすべてととのい、あとは飛行機に乗るばかりになっている。
- いま、コンピュータに入っているから、あとはプリントするばかりになっている。
- 年賀状はもう書いてしまって、郵便局へ持って行くばかりになっています。
- 料理はもうできているから、出すばかりになっている。
- 私が書いた論文は提出するばかりになっていたのに、政治経済の状況が変わって、不適切になっています。

116. 彼は、私に向かって怒らん\_の表情で「何か用事ですか。」といった。

□ ばかり

◆「～ん（ぬ）ばかり」で“もう少しで～する（様子）”という意味で、ここでは怒った様子で、という意味。

- 彼は「本当はあんたが殺したんだ」と言わんばかりに、私をにらみつけていた。
- 頭をたたみにつけんばかりにおじぎをした。（例解国語辞典より）
- 彼は飛びかからんばかりに私の方に向かってきた。
- 窓ガラスが割れんばかりに、大きな声を出している。
- 子供は泣きださんばかりに顔をゆがめた。

117. 空が曇っているとはいえ、傘をもっていく\_のことはないですよ。

□ ほど

◆「傘を持っていくほど雨は多く降っていない」という意味から、〈傘を持ってい く必要はない、持っていなくてもよい〉という意味になる。

- 飛行機に乗るといっても、生命保険に入るほどのことはないですよ。だって、自動車より安全なんですから。
- A：あの人怒っていた？  
B：うん、ちょっと。でも気にするほどのことはないよ。
- 寒いと言っても、毛皮を着ていくほど寒くない。
- その仕事は徹夜で仕上げるほど緊急なものではない。
- うわさに聞いたほどには被害はひどくなかった。
- きょうはちょっと寒いです。しかし暖房を入れるほどの寒さではない。
- 病気になっているとはいえ、学校に行けないほどのことはないですよ。

118. 遺産\_がほしくて、今日子と結婚したのではありません。

□ なんか／など／な（ん）ぞ

- ◆ この場合は「遺産を大切だとは思っていない」という気持ちを表している。「私なんか」というと、謙遜の意味になる。
- 私なんかが言っても、誰も聞いてくれませんよ。
- 私がガソリンスタンドで働いたのは、お金なんかがほしいからではなく、日本語を習うためである。
- 彼は成績なんかにかまわず、学問それ自体のために勉強している。
- 君なんか分かるものか。
- 寂しくなんかない。
- 私の描いた絵なんか、はずかしくて見せられません。
- お礼なんか欲しくて手伝ってあげたんじゃないです。
- 風邪なんかこの薬で大丈夫です。
- ぼくなんか招待しても、誰も来てくれないです。

119. A 「どうもありがとうございました。これは御礼として、…」

B 「御礼 A いりませんよ。」

A 「じゃ、B お名前だけでも教えてください。」

□ なんて／など／なんか

- ◆ 「なんか」は〈名詞〉なんかが、なんかに、のように助詞がつくが、「なんて」の後には助詞がつかない。
- ◆ せめて…「せめて～だけでも、…」他のことは仕方がないとしても、少なくともこれだけは、という気持ちを表す。
- せめて気持ちだけでも汲んで下さい。
- せめてもう5分だけでもあれば最後まで書けたのに。
- せめて一回だけでも会いたい。
- 「お酒でも一杯飲みませんか。」  
「いいえ、お酒なんて飲めません。」  
「じゃ、せめて、ビールで乾杯しましょう。」
- せめて、命だけでも助けて下さい。
- 「そんなに大きい弁当はいりません」  
「じゃせめてこのおにぎりを持って行ってください。」
- A：「どうもありがとうございました。これは御礼として・・・」  
B：「御礼なんていりませんよ。」  
A：「じゃ、せめてお名前だけでも教えてください。」
- A：「夕ごはんなんていいですよ」  
B：「じゃ、せめてお茶だけでも」

120. 迷子の男の子は、迎えにきた母親を見る、わっと泣きだした。

□ なり／とすぐ

- ◆ 主語は同一。様子や状況を説明する文で使う。従って、「～てください。」のような文では使えない。
  - その男はお金をわしづかみにするなり、逃げだした。
  - ニュースを聞くなり飛び出して行った。
  - 家にかばんを置くなり、遊びにでかけた。
  - 彼を見るなり、逃げだした。
  - 顔を見るなりしかりつけた。
  - 友達の本を見るなり、友達と会う約束を思い出して、突然部屋を出た。
  - 欠席して遊んでいた学生が、先生に会うなり逃げだした。
  - 彼は部屋に入るなり、倒れた。
  - プレゼントをあけるなり、大声を出した。

121. 電車で遅れまいとして、\_に、走って、間に合った。

□ 走り

- ◆ 「動詞（～ます形）に、～」はその動作をたくさんしたことを表す慣用句。この場合「走りに走った」は「走り続けて」のような意味。「～まい」は～ないようにしよう、の意味。
  - 昨日のコンパでは飲みに飲んだよ。（たくさん飲んだ）
  - 探しに探して、ようやく先生の家を見つけた。（あちこち探しまくって）
  - 町内会の会長は道路建設反対の署名を集めに集めた。（大勢の人の署名を一生懸命、たくさん集めた）
  - さがしにさがして、ついにウランの鉱脈を発見した。
  - スナックで歌いに歌って疲れた。
  - 食べに食べて肥満になってしまった。
  - 久しぶりに友達に会ったので、あごが痛くなるまでしゃべりにしゃべった。
  - その問題は難しくて、考えに考えたが分からなかった。
  - 考えに考えて、先生の難しい質問に答えました。
  - これは考えに考えた末です。
  - 母に毎日頼みに頼んで、ようやく新しい靴を買ってもらった。

122. 子供じゃ\_し、いつまでも、お子様ランチを食べるんじゃない。

□ あるまい

- ◆ 「～じゃあるまいし」／は「～じゃないんだから」という意味の話しことばで、続いて、「そんなことはあるべきではない／あるはずがない」という意味の表現が来る。例えば、大学生がファミリーレストランに入った時に、お子様ランチを注文しようとしたとする。それを見て、友人の一人が「子どもじゃあるま

いし、....」。書き言葉では、「じゃ」の部分が「では／でも」になる。

- 死ぬほどの病気じゃあるまいし、そんなに大騒ぎすることないわよ。
- 給料があがるわけじゃあるまいし、無理して働くことはないよ。
- お金持ちじゃあるまいし、そんな高い物を買うことはないよ。
- 冬ほどの寒さじゃあるまいし、暖房をいれることはないよ。
- 幼い子供じゃあるまいし、泣かないでください。
- 学生じゃあるまいし、そんなに一生けんめい勉強することはない。
- 赤ん坊じゃあるまいし、そんな事知っているだろう。
- 一生会えなくなるわけじゃあるまいし、そんなに泣くなよ。
- がんほどの病気じゃあるまいし、心配いりませんよ。
- 自分の仕事じゃあるまいし、どうしてそんなにがんばるのかわからない。
- 試験じゃあるまいし、緊張することはないよ。
- 永久に国を去るんじゃないじゃあるまいし、そんなに泣くことないよ。
- 役に立つ本じゃあるまいし、買うことはない。

123. 一生懸命、勉強してい、なかなか、成績があがらない。

□ るのに、ても

◆ この場合は「のに」「ても」どちらでも意味は同じ。「のに」は既定のことについて使う。「ので」と「のに」は反対。「ても」は未定にも既定にも使える。

- せっかく京都まで行くのに、京都見物しないで帰るのはつまらない。
- 大阪往復買っても、京都往復買っても、料金は同じです。
- こんなに暑いのに、あの人はコートを着ている。
- 先週、宿題を出したのに、先生はまだ見ていない。
- ノックをしたのに、返事がない。
- ノックをしても、返事がない。
- 雨が降っているのに、外で遊んでいる。
- 雨が降っていても、外で遊んでいる。
- 本をいっぱい持っているのに、知識が乏しい。
- 日が暮れたのに、彼はやはり外でぼんやりと座っていた。
- みんながそういうのに、彼は信じようとししない。
- 手紙を出したのに、なんの返事もない。
- 電話をするように伝えたのに、全然してくれなかった。どうしてだろう。
- こんなにいい天気なのに、いっしょに遊ぶ友達もいない。
- そこまで教えてあげたのに、まだわからないの？
- 半世紀もたったのに、この事件はまだ人々の心に残っている。
- 彼女は恋人を愛しているのに、結婚しないことにしました。

124. 入学試験を明日に、いるので、今日は眠れそうもない。

□ 控えて

◆「控える」は次に来る事柄に備えて、後ろに下がって待っているという意味。

次の「控える」はどんな意味か考えてみよう。

- 結婚式の間、係の人は部屋の後ろに控えていた。
- 電話番号を手帳に控えておいたはずなのに、見つからない。
- クリスマスを間近に控えて、町はクリスマスの飾りでいっぱいだ。
- あの人は控え目な人ですね。
- 控え室
- 面接の学生は控え室で控えています。
- 冬休みを控えて、彼は帰国の用意をしている。
- あのチームは控え選手を何人もつれて来た。
- マラソン競技を控えて、つくば警察は東大通りを一時通行止めにした。
- 彼の住所を尋ねて、手帳に控えた。
- 試合を明日に控えて休養を取っている。
- 大学病院に入ったら、タバコを控えなくてはいけない。
- これから言う事を控えて下さい。
- 入学試験を控えて、緊張しています。
- おばは糖尿病なので、いつでもご飯を控えています。
- 冬休みを間近に控えて、おみやげも買っておいた。
- お正月を控えて、年賀状をたくさん買った。

125. あの人はもう食事は済んだと、コーヒーを飲みながら、タバコを吸っている。

□ みえて

◆「～とみえる」で「～ようだ」「～みたいだ」の意味。

- 試験に受かったとみえて、なんだか元気がいい。
- サッカーに負けて、よほどがっかりしたと見えて、あまり口もきかない。
- 国政に対する国民の強い不満は、しだいにおさまるとみえた。
- 息子はかなり疲れているとみえて、帰って来るなり寝てしまった。
- 彼は納得しなかったとみえて、なんだか文句を言っている。
- 山田さんは今度の試験に失敗したとみえて、何も言わずに元気がない。
- 徹夜で勉強をしていたと見えてつかれた顔をしている。
- 誰かを怒っているとみえて、不機嫌だ。
- あの選手はつかれたとみえて息が弾んでいる。
- 仕事を失ったとみえて、最近は一日中宿舎にいる。
- あの学生は調子が悪いとみえて、今日は休んでいる。

126. 小数意見は大切にしなければならないが、現実社会では A 無視され B です。

□ とかく／ややもすると／ともすれば

□ がち

◆ 「とにかく」は副詞で、「そういう傾向がある」「～しがちだ」という意味を加える。「とにかく～がちだ」とセットで使われることも多いが、文末には傾向を示すことばがくる。

- 体の不自由な人の立場は、競争社会の中でとにかく無視されやすい。
- そうしたことは、とくになおざりにしがちだ。
- 女性の性差別についての政策はとにかく軽視されやすい。
- 現代の子供はとにかくわがままに育てられがちだ。
- 日本人はとにかく遠慮しがちだ。
- 現代社会において貧乏な人がとにかく軽蔑されがちだと言われている。
- 寒くなると、とにかく寝坊しがちだ。
- 成績がよいととにかくうぬぼれがちだ。
- このような事はとにかく忘れがちだ。
- 急いで出かけるときにとにかく何か必要な物を忘れやすい。
- 学校でいじめられた子供には、とにかくコンプレックスが生じがちだ。
- 子供はとにかく大人の言ったことを信じがちだ。

127. 今、あの店でベンツが36万円でかえます。う、エンジンはありませんがね。

□ もっとも／とは言っても／但し

◆ しかしながらと言って条件を加えるときの接続表現。

- シェラトンホテルなら快適ですよ。もっとも料金も高いですが。
- 来年は結婚したいと思っています。とは言っても彼がその気になったらですけど。
- 大学院に入って、専門の研究をして、博士号をとるつもりです。もっとも、入学試験に合格しなければなりません。
- ぼく的車で行こう。ただし、ガソリン代はおまえたちが出してよ。
- 私も行く。もっとも父に許してもらわなければならないけど。
- この提案がいいと思う。もっとも反対派がないわけでもないが。
- 世界中を旅行したいと思っています。もっとも、お金があればね。
- 電子手帳はほんとうに役立つよ。もっとも値段が高いですが。
- 来週友達にEメールを出すつもりだ。とは言っても使い方を友達からならわなければならない。
- 引き受けてもよい。但し条件がある。
- 国と比べて、奨学金が高い。もっともこちらの生活費も高い。
- 日本製の洋服はきれいです。もっとも値段が高いです。
- 今、すいかは100円でかえます。もっとも、タイで買う場合ですが。

128. 人間\_ならず、サル（猿）の社会にまで、階級制度が存在している。



□ のみ

- ◆ 意味は「だけ」。「人間のみならず」は、人間だけではなくの意味。ここでは「～のみならず」「～のみにあらず」をセットで覚えること。
- アルバイトの申し込みに行ったら、面接のみならず、電話の対応の実演までやらされた。
- 従業員のみならず、社長もいっしょに、掃除する会社があるそうだ。
- 人間はパンのみに生きるにあらず。
- 明日の授業は午前中のみ。
- 彼は英語のみならず、フランス語、ドイツ語もぺらぺらです。
- 気温が高いのみならず湿度も高いので、不快指数は上がりっぱなしである。
- 学歴のみを問題にすべきでない。
- 割引料金は子供のみ。
- 筆記試験のみならず、最近面接試験をも行なう学校が増えてきている。

129. この仕事を三日で終わらせるので A 難しいのに、B 半日で終わらせろなんて気違い沙汰です。

□ A さえ; B まして

- ◆ 「... さえ...、A まして B」上限を示して、それより以下はまして、そうではない、あるいは下限を示して、それより以上はまして、そうではない、という意味で使う。この例文の場合は、3日は上限、それさえ難しい。まして、それ以下の半日ではとても無理、という意味。
- 日本人にさえ難しい古典文学が読めるなんて、すごいですね。
- ビールさえ飲めないのに、ましてウィスキーは無理ですよ。
- 彼は代数さえ知らない。まして微分方程式を知っているはずがない。
- 新聞を見る暇さええないのに、まして映画を見る時間はない。
- この問題は先生にさえむずかしい、まして学生には無理ですよ。
- 本人さえ知らない事を、他の人が知るわけないだろう。
- 蟻さえ殺せない人なのに、まして殺人なんてありえないことだ。
- 子供でさえできることが、どうしてできないんですか。
- 簡単な作文でさえ書けないのに、まして小論文は無理です。
- 私の兄は大学で日本語を専攻したのに、日本語で手紙さえ書けない。
- 自分のことさえできないのに、まして手伝いは無理ですよ。
- 大人でさえわからないのに、まして小さい子供にわかるわけがない。
- 辞書にさえないことばを、どうして私が知っているんですか。
- バカな私でさえ解いた問題だから、ましてあなたはすぐ答えられでしょう。
- カラオケへ行くのさえ恥ずかしいのに、ましてテレビに出演するのはとても無理だ。

130. あの人はいんな顔をしていますが、A 怒っているのではありません。ああいう顔を  
しているのです。

☐ 別に B もともと・生まれつき

◆「別に」は、特別に何かあるわけではない、特に何もない、という意味を加える。

◆「もともと」は、本来からという意味の副詞

● A：どうして結婚しようとししないの。

B：別に結婚したいって、思わないからね。

● お母さん：今日は学校どうだった。

子ども：うん、別に。

● A：何考えているの。

B：うん別に・・・。

● A：そんなに黙っていて、何かあったの？

B：別に考えてないけど、少し疲れただけだ。

● A：今日はとても寒いね。

B：いいえ、私は別に寒いと思わない。

● いつもカレーライスを注文しているのは別に好きだからじゃない、ただそれが一番安いだけだ。

● 彼は2、3分の内にご飯を食べてしまったが、別に用事があるのではありません。もともと気が早い人なのです。

● もともと頭がいいのに、勉強しないから、成績が悪い。

● もともと忘れっぽい。

● 別に練習しなくても試合で優勝するのは、もともとああいう体をもっているからです。

131. 驚いた、この少年は300ページ以上の本を3分で読み、その内容を解説する  
ではありませんか。

☐ ことに

◆「〈感想／評価〉ことに」で、これから述べることを解説する働きがある。「～  
するではありませんか」は驚きを表す。

● あきれたことに、あの政治家はまだ自分のやったことが非常識だということに  
気が付いていない。

● 惜しいことに、あと2分で終わる試合だったのに得点されて引き分けになった。

● 悲しいことに、彼はあんな若さで死んでしまった。

● 恥ずかしいことに、あんなやさしい試験で落ちた。

● あきれたことに、兄はまたまたスピード違反でつかまえられました。

● 驚いたことに、こんな常識的なことをあの専門家は分からなかった。

- 残念なことに、今日のテニス練習は中止された。
- 幸いなことに、その事故で怪我人はいなかった。
- 驚いたことに妻子を殺した犯人は夫だった。
- ほっとしたことに、レポートの提出の締め切が来月末までに延期された。

132. あれだけ親切にしたのだから、御礼ぐらい言っても\_ものだ。

□ よさそうな

- ◆ 「よさそう」は「いい+そう」からできているが、このように「～てもよさそうなのに／～てもよさそうなものを／～たらよさそうなものだ」などと言って、疑問や批判を表すのに使う。
- あんなに心配して聞いているのに、返事ぐらししたらよさそうなものを、どうして黙っているのだろうか。
- これだけ、金利も下がって、住宅の建設も増加しているのだから、もう少し景気が回復してもよさそうなものである。
- こんなに服がきれいなのだから、誰かがおせじくらい言ったらよさそうなものを、みんな黙っているんですね。
- 自分で買って使ってもよさそうなのに、いつも借りて使っている。
- あんなに手紙を出したのだから、返事を書いてくれたってよさそうなものを。
- こんなに一生けんめい勉強したのだから、成績はもう少し上がってもよさそうなものだ。
- ひまだったら手伝ってもよさそうなのにだまって見ている。

133. 1時間でステーキ3枚とライス3皿を食べ\_のはちょっと無理じゃないか。

□ つくす、きる

- ◆ ～つくす、～きる、でその動作を完全に終了して、それ以上はもうできないことを言う。
- \* たくさんのものを一度に食べてしまうことを「たいらげる」とも言う。その相撲取りは、あっという間に、どんぶり3杯のごはんを平らげた。
- 意見はもう出尽くしたようですね。結論を出しましょう。
- 考え尽くした結果、仕事をやめることにした。
- 熱帯林を伐採しつくした結果、緑豊かな美しい所が急速に砂漠化しています。
- やれる事はやりつくしたので、結果を待つしかない。
- 考えつくした結果、仕事をやめて、大学に行く事にした。
- 祖母は戦争のときあらゆる苦しみを経験し尽くした。
- 一人では食べきれないほどごちそうになった。
- この本は厚くて、なかなか読みきれない。

\* 使い果たす

- 捕まったとき犯人はお金を使い果たして、所持金は150円だけだった。

- マラソンランナーは力を使い果たして倒れ込んだ。
- 有り金全部使い果たす。

134. 彼は救い\_のないバカである。

☐ よう

◆ このときの「よう」は方法という意味。「救いようのないバカ」は非常にばかだと言う時の、慣用句。

- そのような失礼なことばかりしていたのでは頼みようがない。
- スペイン語が全然分からなかったので、聞こうにも、聞きようがなかった。
- おなかがいっぱいだったので、食べようにも食べようがなかった。
- どこへ行っているのか、連絡しようがない。
- 彼は救いようのない悪い奴です。
- そんなばかなことばかりしていたのでは信じようがない。
- この機械の故障はなおしようがない。
- 彼の病気はもう直しようのないほどでした。
- 日本の秋は言いようもないほど美しい。
- これ以上手のほどこしようがない。
- 事故を忘れようにも忘れようがない。

135. A：「あなたは娘の命の恩人。何か御礼をしなければ、私の気が\_ません。」

B：「いや、それには\_」

☐ おさまり／すみ

◆ 「気がおさまらない／すまない」で、相手に対して自分の気持ちが平静になれないという意味。この場合は、相手に対して申し訳ないという気持ちで、落ち着かない気持ち。相手に腹を立てる場合でも使える。「済む」は「終わる」の意味。「納まる」は「納得する」の意味。

- いつもいつもいただいてばかりでは、私の気がおさまりません。
- これをお受け取りくださらないと、私の気がすみません。
- いつもプレゼントをもらうばかりでは、私の気がおさまりません。
- いつも御馳走になってばかりいては、私の気がおさまりません。
- それでは私の気がおさまりませんので、どうぞうけとって下さい。
- 何回もごちそうになるばかりでは気がおさまらない。
- 手紙を貰ったら返事がかかいうちは気がおさまりません。
- このままでは私の気がすまない。仕返しをしてやる。

☐ およびません

◆ 「その必要はない」という意味を、社交的な場面で間接的に言うとき、使う。「及ばない」は基本的には「そこまで達さない」ということ。

- わざわざ出迎えに来ていただくには及びません。

- こんな物をわざわざ取りに来るには及びません、郵送で送れます。
- ご飯などの心配には及びません、私、仕事がすみましたらすぐ帰ります。
- この手紙は書留で送るには及びません。
- 社長自ら来ていただくには及びませんが、社員を一人来させてください。

136. 常日頃から、誤解を\_ような行動は慎むべきだ。

☐ 招く／生む／呼ぶ／される

◆「招く」は「呼び寄せる」という意味。

×「理解を招く」のようには言わない。

×「誤解を招かれる」

- 彼女のはでな外見が誤解を招いている。
- 彼の言動が今回の誤解を生んだ。
- 誤解を呼ぶようなことは言わないでください。
- 彼は日本語があまり上手じゃないから、時々誤解されやすい事を言っています。
- 彼の話が、まわりの人々に誤解を生んだ。
- そういうふうに言ったら誤解を招くかもしれない。
- 彼の無表情はいつも誤解を生む。
- 科学論文を書く時、できるだけ誤解を招かないように、はっきりと書いてください。
- 外国語の知識の不足は誤解を呼ぶことが多い。
- 危険を招くような行動は慎むべきだ。
- 彼の行動は大きな反響を呼びました。

137. 遺産を\_、兄弟の醜い争いが続いている。

☐ めぐって

◆「巡る」は「周りをぐるっと回ること」。「～をめぐって」の場合は、そのことを中心にして議論した、のようなときに使う。簡単には決まらない議論の場合に使う。

- 日本の国際貢献をめぐって、国会で議論された。
- 日米の技術競争をめぐる映画が作られた。
- 貿易摩擦を巡って論じ合いました。
- この川の魚が突然に全部死んだことをめぐって、詳しい調査をやりました。
- 部長の椅子をめぐって、何人か争い続けている。
- 最近は経済問題を巡って、番組がたくさん放送されている。
- 彼女の死をめぐって、噂が多いです。
- 国土問題をめぐって、両国の間に戦争が起った。

138. あなたの言い分が正しいに\_、暴力はいけない。

☐ せよ / しろ

◆「～にしろ / ～にせよ」で「～であっても」の意味。

- この教科書がどんなにいいにせよ、勉強しなかったら、何にもならない。
- 犯人が極悪人であったにせよ、死刑は問題だ。
- どのように実力があるにせよ、性格がよくないと社会生活はできない。
- 地球が大きいにせよ、このまま続ければゴミにうまるのは時間の問題だ。
- その問題の責任が私にあったにせよ、首きりはひどいのではないか。
- 朝にしろ夜にしろ、どっちでもいい。
- 国の経済がどんなにいいにせよ、国民の生活がよくならなかったら、何にもならない。
- 病気になったにせよ、そんなにたくさん薬を飲むのは問題だ。

139. 彼の病はもう治らないそうだが、我々は\_風を装っておこう。

☐ そ知らぬ／知らぬ

◆「そ知らぬ風をよそおう」は「何も知らないふりをして行動する」という意味。

- 警察はそ知らぬふうに彼女に話しかけた。
- その子供は、店のお菓子をポケットに隠しているにもかかわらず、そ知らぬふうに「盗っていない」と言った。
- 聞かれたら、知らぬふりをしたらしい。
- 何回呼んでも、彼はそ知らぬ顔をしていた。一体どうしてだろう。
- 彼は知っているのに知らぬふりをして、私に教えてくれない。
- 賄賂を使ったにもかかわらず喚問に対してそ知らぬ風をよそおった。
- 彼は試験に落ちたが、我々は知らぬ風を装っておこう。
- 犯人は素知らぬ顔で、犯罪現場に戻った。
- 彼女とつき会っていることを知っているけど、そ知らぬふうに聞いてみた。
- 彼は建物に立ち入り禁止だとよく分かっていたのに、そ知らぬふうに入ってしまった。

140. 子供の喧嘩に親が\_をはさむのはよくない。

☐ 口

◆「口を挟む」「挟む」は、「物と物の間に入れる」という意味。この場合は、「口出しをする」とも同義

- 夫婦のことに、他人が口を挟まないでください。
- あなたは関係ないから、口をはさむな！
- 友達とのけんかに、他の人が口を挟まないで下さい。
- 私のことは、私がちゃんとするから口を挟まないでください。
- 他人の問題に、頼まれもしないのに、口を出してはいけない。
- 他の人が話しているときに口を挟んでは失礼だ。
- 恋人の間のけんかに他の人は口を挟まないほうがいい。

- 宗教上の違いに口を挟まないほうがいい。
- 大人の話に子供が口をはさむのはよくない。
- 家族内のことに、ほかの人が口を挟まないほうがいい。
- 他国の民族問題に、口を挟まないほうがいい。
- 子供げんかに親が口を挟むのはよくない。

141. 秋の台風は大雨を\_ことが多いようだ。

☐ ともなう（伴う）、もたらす

◆ 「伴う」は「同伴する」「一緒にいる／ある」の意味である。

- 学長は奥さんを伴ってパーティーに出席した。
- 今回の地震に伴って、津波が発生した。
- それは非常な困難をともなう仕事だ。
- 先端技術の進歩に伴って生活様式も大きく変わってきた。
- 国の経済開発は自然破壊を伴うこともある。
- この本の出版にともなって、出版界は活気づいた（活気づきはじめた）。
- 人の思想は年齢や環境に伴って変化する。
- ストレスを伴う疲れは過労死の原因の一つだ。
- 子供が成長するのにともなって教育費もどんどん増えている。

\* 「もたらす」は「持ってくる／いく」の意味。

- 今回の地震がもたらした被害は、相当なものようだ。
- 経済の不景気は失業をもたらす。
- 紙幣の乱発は、インフレーションをもたらした。
- 自由市場がもたらした経済繁栄が見られる。
- 文明がもたらした自然破壊は、想像よりずっとひどい。

142. 泣きたければ A ておけばいい。そのうち泣き B でしょう。

☐ 泣かせて

◆ 「.... たければ、.... させておく」で、その人のしたいようにさせる、の慣用的な言い方。

- 言いたければ、言わせておくさ。（その人が言っていることに対して、私は何も言わないで、そのままにしておく。）
- やりたければ、やらせておけばいい。
- たばこを吸いたければ、吸わせておくしかない。
- 飲みたければ飲ませておくしかない。
- 授業をサボリたければ、サボらせておけばいい。そのうち勉強したい気になるかもしれない。
- 帰りたいければ帰らせておけばいい。

□ やむ (止む)

◆ V-(base) やむ stop Verb-ing 「やむ」は「続いてきたことが止まる」の意味。

- 雨が降りやんだ。
- 雨はずっと降っていて、やみそうもない。
- 風が吹き止みました。雪が降りやみました。
- 痛みが止んだ。

143. ㄱ、三千円だけお支払いします。残りは月末まで待ってください。

□ とりあえず (取り敢えず)、さし当って、とにかく (兎に角)

◆ 「とりあえず」は「取るべきものも、じゅうぶん、取らずに」の意味を含む。

従って、「これで、全部が解決するわけではないが、今の時点では、不十分だが」の意味となる。

◆ 「さし当って」は「先のことは、今はちょっと分からないが、今の時点では」

◆ 「とにかく」は「色々考えることや、することがあるけれど、その事は、そのままにして、今は.... をする」という時に、使う。

- 社長が留守なので、受け取っていいものかどうか、わかりませんが、取りあえず、お預かりいたします。
- ボーナスを何に使うか、さし当って計画がないので、取りあえず、銀行に貯金することにした。
- A：ごめんください。  
B：ああ、いらっしやい。  
A：先日は、色々すみませんでした。あの、...  
B：まあ、とにかく、お上がり下さい。
- 宿題がいっぱいだから困るなあ。とりあえず明日必ず出さなければならないのをやろう。
- 授業があるかないか、分からない。とにかく行きましょう。
- さしあたって何が必要ですか。
- 道がよく分からないけど、とにかく次の信号まで行きましょう。
- 夏休みはどこに行こうか、差し当たって予定はないから、とりあえず、旅行会社のパンフレットを読もう。
- みなさん忘年会のことなんです場所はまだ分からないんですけど。とりあえず、いつやるかを相談したいんです。

144. 客を温かく A 店もあれば、冷たく B 店もある。

□ もてなす (持て成す)、迎える

◆ 「もてなす」は「接待する」の意味。

- A：そろそろ、失礼します。今日は、本当にごちそうさまでした。  
B：いいえ、何のお持て成しも、できません。



- 20年ぶりのアメリカでは、なつかしい友達の温かい持て成しを受けた。
- 母はいつも人を厚くもてなします。
- 私は茶菓のもてなしを受けました。
- 年老いた夫婦はその見知らぬ旅人をあたたかく持てなしました。

□ あしらう

- ◆ 「あしらう」は取り扱うの意味。人間に対しては、その取り扱い方が、敬意のない態度。しかし、物に関しては、帽子に花をあしらう、のように、配置する、という意味で使う。
- 指導教官に相談したが、忙しいらしくて、冷たくあしらわれた。
- 店員がお客さんを無愛想にあしらえば、そのお客さんは二度と来ないものだ。
- あの人はお客を鼻先であしらう。
- そのウェ이터は気分によって、冷たくあしらったり、温かくもてなしたりしてくれる。
- 招かれて訪ねて行ったのに、冷たくあしらわれて気分が悪くなった。
- 赤い花に緑の葉をあしらいます。
- 彼は借金取りをうまくあしらって追い返した。
- ふだんの格好をして高級レストランに行くと、冷たくあしらわれるだろう。

145. 泣いている子供はに叱っても、効果がありませんよ。

□ むやみ、やたら、

- ◆ 「やたら」は、その頻度が多いこと。しかし、ただ単に多いのではなくて、不必要なほど、という感じ。一方、「むやみ」は“その程度を考えない程、多く”という感じがある。
- 子供に、むやみに甘いものを与えてはいけない。
- 彼はむやみやたらにお金を使う人だ。
- むやみに子供を可愛がるのは危ない。
- かれはやたらに本を買い込む。
- 彼はやたらに彼女をほめる。
- くすりをやたらに飲んではいけない。
- あなたもむやみに人のうわさをしない方がいい。

146. こんな高い家賃を払うのなら、に家を買ったほうがいい。

□ いっそ、いっそのこと、むしろ、思い切って

- ◆ 「いっそ」「いっそのこと」は〈同じ～なら、むしろ思い切って... する〉のような意味。「むしろ」は二つのものを比較して、「どちらかというところ... のほうが」という時、使う。「思い切って」は「勇気を出して、決断して。」の意味。
- このテープレコーダは修理しなければならないが、修理代も高いし、いっそ、新しい良いのを、買ったほうがいいかもしれない。

- ワープロを買うより、むしろパソコンを買ったほうがいいんじゃないかな。
- スキーで...

A：こんな急な斜面を滑るんですか。

B：うん、そのあとは、なだらかになるから。

A：じゃ、思い切って、行きます。

- 日本の会社で毎日残業をするより、むしろ自分の店を思い切って開きたい。
- 過労死で死ぬよりむしろ安い給料で、楽な生活をしたいと思う。
- ラジオを買うよりむしろ、ラジオがついた Walkman を買ったほうがいい。
- 手伝おうと思ってしたことなのに、むしろ迷惑になってしまった。
- いいかげんにするくらいなら、むしろしないほうがいい。
- こんな人と結婚するより、むしろ一生独身のままだいい。

147. 「よいい。どん。」で、全選手が\_にスタートした。

☐ いっせい（一斉）

◆ 多くのものが一度に同じ行為をする様子を表している。

- 今度の日曜日には町内一斉清掃があります。
- テスト開始のベルで、学生達は一斉に答えを書き始めた。
- マラソン走者は、一斉に午後12：01に走りをはじめました。
- 雨が突然降り出すと、みんな一斉に傘をさした。
- 挨拶を聞くと、参加者は一斉に拍手をした。
- 鳥がいっせいに飛び立つ。
- お盆のころ、多くの人が一斉に帰省して、また一斉に都会に戻るのを「民族大移動」と言っている。
- 学生宿舎では、1年間に二回一斉清掃が行われている。

148. 彼が盗んだということも考え\_もするが、そうは思いたくないのだ。

☐ られ、たり

◆ 「[V-(base)] もする」で、「～する場合もある」のような意味で、この場合、「考えられもする」で、「そういう可能性もある」の意味。

- 褒めもするが、叱りもする。
- 試合なのだから、勝ちもするが、負けもする。
- 試験なのだから合格もするが、落ちもする。
- リサイクル店は、買いもするが、売りもする。
- 人間なのだから、成功もするが、失敗もする。

149. \_ことをお聞きしますが、近くに公衆便所はございますか。

☐ つかぬ（付かぬ）

◆ 「出し抜けに」、「関係ないことを突然に」、誰かに質問するときに、言い始めるときの、便利な決まり言葉。

- A：昨日は、昔、主人と見に行った古い映画をテレビで見てなつかしかったわ。
- B：あの、つかぬことを伺いますが、結婚していらっしゃるんですか。
- A：いえ、もう離婚しています。
- B：あ、失礼しました。
- つかぬことをおたずねしますが、おいくつでしょうか。
- つかぬことを伺いますが、〇〇さんのご主人でいらっしゃいますか。

150. クラス\_に分かれて、試験を実施いたします。

☐ ごと（毎）

◆「各々に、それぞれに」の意味。「[名詞] ごと」と使う

- 5キロ毎に、スプリットタイムが表示される。
- 2カ月毎に、テレビの受信料を払っている。
- 宿題の作文を、列毎に、集めてください。
- 正解毎に3点とれます。
- 授業毎に文を30書かなければならない。

151. 子供が急に飛び出してきて、\_ひき殺すところだった。

☐ 危（あや）うく

◆「危ないところで」とも言える。「もう少しで、そう（いやなこと）なりそうだったが、実際はそうはならず、危なかったが、大丈夫だった。」というとき、使う。文末には、～ところだった、～そうになった、など、がくる。

- A：ガン検診を受けていてよかったですね。
- B：ええ、早期発見でしたからね。危うく命を落とすところだった。
- 授業をさぼってアパートに帰るとき、危うく先生に見つかりそうになった。
- 入学試験のとき、道路が込んでバスが遅れ、危うく試験に遅れるところだった。

152. そんなに危険なことをして、やるほどの価値はない。

☐ まで

◆ものごとの限界、限度を示す助詞。単純に、from-toのtoの意味の他に、「そんなにまで」という驚きなどの感情を強調する使い方もある。この場合は後者。

- こっちから頭を下げて頼んでまで、してもらわなくてもいい。
- 台風で屋根まで飛んでしまった。
- こどもにまでばかにされた。

153. いつまでも\_していないで、早く学校に行きなさい。

☐ ぐずぐず

◆判断、動き、が遅いこと。何もしていないわけではないが、やることのろい。「のんびり」も、ゆっくりした様ではあるが、これには、相手を非難する気持ちはない。「のんびり過ごしたい」とか、「正月はのんびりできて、良かった」

などと、使うが、ここに「ぐずぐず」はおかしい。愚図（ぐず）には非難した気持ちがある。母親が子供に向かって使う。

- 総理大臣は、ぐずぐずしていないで、早く決断して欲しい。
- ぐずぐず言っていないで、はっきり言ってください。
- ぐずぐず考えていても仕方がないから、やってみましょう。

154. この喜ばしいニュースを\_に誰に伝えたいですか。

☐ いの一番／まず最初／まっさき

◆ 「い」は「いろはにほへと……」の「い」で、一番最初のこと。最初の中の最初、と強調した言い方。

- 国に帰ったら、いの一番に、父の墓参りをしたいです。
- うちの子は学校から帰ってくると、いつも、いの一番にトイレに駆け込みます。

155. 大きな赤字を出して\_、私はこの仕事を続けたい。

☐ でも

◆ 「出してでも」は「出したとしても」「出したって（話しことば）」。「～てでも」は最悪、最低の仮定条件を示して、たとえそうであってもいい、という意味を表す。後には、positive な評価を含む表現がくる。これとは反対に、「～てまで」の場合、後ろに、negative な評価が来ることが多い。

- こっちから頭を下げてでも、してもらいたいことです。（例えいやなことをしてもいい、）
- こっちから頭を下げてまで、してもらいたくない。（そんなにいやなことをしてまで）
- お金を払ってでも、やる価値がある。（例えお金を払ってもいい、）
- お金を払ってまで、やる価値はない。（そんなにしてまで）

「でも」には、色々なものがある。

〈接続詞〉 雨でも行く。

〈各助詞＋も〉 そのスーパーでも売っています。

〈てもいい〉 はんこはないんですが、サインでもいいですか。  
友達を呼んでもいいですか。

〈取り立て助詞〉 反省だけなら、さるでもできる。（限度）  
お茶でも飲みましょう。（例示）

156. 旅行に行く\_、商売する\_、好きなことにこのお金を使いなさい。

☐ なり

◆ 同じ様なまとまりのものごとの中から、いくつか示して、自由に選択できることを表す。

- 殴（なぐ）るなり、蹴（け）るなり、好きなようにしてください。
- 手紙を書くなり、電話するなり、したらよかったのに。どうして、連絡しな

かったの。

- この鍋（なべ）料理は、味が何もついていませんから、自分の器（うつわ）にとってから、ぼんずなり、ごまだれなりかけて、食べてください。

157. ここまで準備したのだから、後はもうやるない。

☐ しか

- ◆ 話し言葉では、やるしかない、が「やるっきゃない」のように、発音されることもある。「～しかない」は「～だけある」だから、この場合、他の選択はない、「するだけだ」「しなければならぬ」という実行を決意するときの、表現。「後にはひけない」という強い表現。一方、仕方がない、それしか方法がない、という消極的決意でも、使われる。

- 土井たか子さんの、有名な言葉は「やるっきゃない」です。
- こんな時間で、バスもないし、タクシーを呼ぶしかないですね。
- 日本に留学したからには、日本語をがんばるしかない。

158. 親切にしてやった上に、お金までよこせなんて、あきれてない。

☐ ものが言え

- ◆ 驚き、呆れたときの決まり文としては、「あきれて、ものが言えない」の他に、「あきれて、開いた口が塞（ふさ）がらない」「あきれて、声も出ない」などがある。「呆れる」は、あまりに、ばかばかしい非常識なことに、驚く、という意味。

- 自民党が野党になったとたん、前の社会党と同じ様な行動をしている。あきれてものが言えない。

159. いつも、私にお金を借りるくせに、「お母さん、プレゼントは何がいい」なんてないことを言っている。

☐ 心にも

- ◆ 「心にもない」は、「本当は、全然考えてもいない」という意味。この場合、娘は、「口先だけで」プレゼントをするようなことを、言っているが、「心にもない」ことだと、母親は思っている。このように、リップサービスに対して、使う。

- あの課長は、心にもないお世辞を、部長に言っている。
- あの人は、「家に遊びに来て。待ってるからね。」なんて、心にもないことを言ってる。

160. あの人は誰からも尊敬される人と思っていたのに、あんなひどいことをするなんて、まるでしまったよ。

☐ みそこなって

- ◆ 漢字では、「見損なう」と書く。判断、評価が間違った、という意味で、かった」というとき、使う。

- わたしだって、できますよ。見そこなわないでくださいよ。
- あんなことを言うなんて、見そこなったな。
- ※全く別の意味で「見忘れる」という意味もある。
- しまった、サッカーの決勝戦（テレビの番組）を見そこなった。

161. この品物は、産地直送\_のご奉仕価格です。

☐ ならでは

◆ 産地直送なら、他の流通経路をたどっていないので、その分安くなる。このように、原因・理由となっているものごと（この場合、産地直送）を特に、強調して示す言い方。名詞につく。

- 生の演奏はCDとは違って、本物ならではの感動を与える。
- これだけ文化的な行事が目白押しなのは、東京ならではのです。

162. これは試験勉強に\_の参考書だ。

☐ 不可欠／ひっす（必須）

◆ 不可欠な／の〈名詞〉、のように、「な」でも「の」でもいい。漢字の意味するとおり、「欠くことができない」、つまり「必ず必要だ」、「なくてはならない」、という意味。「必要不可欠だ」という言い方もできる。「必要」は「な」をとって、「必要な参考書」となる。

- 軍縮を進めていくには、各国が相互に平和を保障することが不可欠だ。
- 中学の先生になるには、教員免許を持っていることは、必要不可欠な条件ではあるが、これだけでは十分ではなく、さらに教員試験にパスしなければならない。

☐ もってこい

◆ 非常にぴったり、適当な

- この写真は日本語の教材にもってこいだ。
- これはビールのつまみにもってこいの料理だ。

163. 彼がこんなに必死に言うのだから、これは\_うそではあるまい。

☐ あながち（強がち）／まんざら／必ずしも、よもや／まさか

◆ 「あながち... ではない」のように、打ち消しの文末がくる。意味は、「... とは断定できない」。否定の程度を弱め、むしろその逆である意味を表す。この場合、「あながちうそではあるまい。」で、案外、本当かもしれない。嘘とは言い切れない。という意味になる。

- 談合はあながち悪いとも言えない。
- 彼女が授業を休むのは、あながち病気のせいばかりではない。
- A：これちょっとはでじゃない。  
B：パーティーに着て行くんでしょ。まんざら悪くもないわよ。

164. 今までがんばってきたのに、\_やめるなんて何を言っているんだ。

☐ いまさら（今更）／今になって

◆「今さら.... ない」は、もっと、早い時点だったら、何とかなかったかもしれないが、今という時点で、そのことをしても無意味だ、どうしようもない、という意味。

- 今更言っても、仕方がないけど、どうして、もっと早くから準備しなかったの。
- 気ままな一人暮らしが長いので、今さら結婚する気にならない。

165. 食べ放題といっても、どんなにたくさん食べても、食べて\_3杯ぐらいだろう。

☐ せいぜい（精精）

◆ 多く見積ってという意味。

- 今日は天気が悪いから、集まってせいぜい10人ぐらいだと思ふよ。せいぜい10人ぐらいしか集まらないと思ふよ。
- そんなに勉強していないのでは、せいぜい6割しかとれないよ。

166. あまり高い値段をつけると商品の\_が悪くなる。

☐ うれゆき（売行き）

◆ 売れていく様子。

- 雲行きが怪しい。（様子の悪い方向への変化）
- 成り行きにまかせよう。（なるようにしておこう）
- 新型車の売れ行きが伸びず、車のメーカーはどこも困っているらしい。
- 売行き不振を苦にして、自殺するセールスマンまで、出てきた。

167. 相手との考えの違いが大きくて\_にならない。

☐ （お）話し

◆「話しにならない」は、話題にしたり、考えたりする価値もないほどばかばかしい、という意味。

- 今週中にお金を返すと言っているが、入ってくるあてもないのでは、話しにならない。
- この程度の作品で応募するなんて、お話にならない。

168. どんなにがんばっても、悪口を言われるのが\_だ。

☐ せきのやま（関の山）／せいぜい

◆ 上限を示して、これ以上は無理だという意味。

- 始めるのが遅かったので、さっと目を通すのが関の山だ。
- あの相撲取りはいくらがんばっても、8勝するのが関の山だろう。

☐ おち

◆「おちだ」は「それで最後だ」という意味。悪い結果を予測して、その行動を批判する表現。

- 俳句のつもりで作っても、川柳と言われて笑われるのがおちだ。

- そんな歳でスキーに行っても、足の骨を折って入院するのがおちだ。
169. 誰もやってくれないので、\_自分でやった。
- ☐ やむをえず（已むを得ず）
  - ◆ 「仕方なく」という意味。既定（過去のこと、決定済みのこと）についてマイナスの注釈を表す。
    - 不作のため、やむを得ず、米を緊急輸入することにした。
    - ？ やむを得ず、米を緊急輸入する。
    - × やむを得ず、あした電話をかえけよう。
    - 飛行機の切符がとれなくて、やむを得ず夜行列車で行った。
170. 事業が計画通り進まないのは、資金が不足している\_、他からの妨害があったからだと思われる。
- ☐ 上（に）／だけでなく
  - ◆ 良いことにも、悪いことにも使える
    - 彼女は性格がよい上に、頭もいい。
    - 高い気温が続いていた上に、非常に乾燥していたので、山火事が発生しました。
171. なんとか\_言っても、やっぱり自分しか信用できませんね。
- ☐ なんとか
  - ◆ 色々な意見・文句を言う、という意味。聞き手にとっては、うるさいばかりで、あまり意味がない。他にも次のような表現がある。
    - \* 「なんだかんだ言う」「なんのかんの言う」「ああだこうだ言う」
    - A：政治改革って、難しいんですね。  
B：政治家はなんとかか何とか言っているけど、結局は、自分の地位とお金欲しいんじゃないですか。
    - 山田さんは、なんだかんだ言って口うるさい人だけど、やることはきちんとやる人ですよ。
172. よくわからないんですが、年金問題が\_っていう話題だったと思うんですが。
- ☐ どのこの
  - ◆ 説明の内容を、具体的には言わないで、色々な内容があった、と表現するときに言う。
    - 医者は患者の病状がどのこののって、他人に言っはいけないことになっています。
    - 女性週刊誌には、皇后の病気がどのこののとか、皇后がどうした、こうしたとか、皇室関係の記事がいつも載っている。
173. そりゃー、面白いの\_、腹がはちきれんばかりでしたよ。
- ☐ なんの（って）／なんのといったら



- ◆ ～なんの、で、その、前にある形容詞を強調する。
  - 難しいのなんの、ちんぷんかんぷんで、全然わからなかったよ。
  - 手術した晩は、痛いなんのって、全然眠れませんでしたよ。
  - 船の上で食べる魚はおいしいなんのって、最高ですよ。

174. こんな大切な話を二人 A で、B 話し合っていたんだってよ。

☐ A だけ、きり; B こそこそ、ひそひそ

- ◆
  - A の「こそこそ」は、他の人には知られないように、隠れてものごとをする様子。「ひそひそ」は小さい声で、の意味。
  - お腹のすいた子供が、お母さんの目を盗んで、台所で、こそこそ食べている。
  - 大臣はひそひそと相談したあと、答弁にたった。

175. この政治家の企（たくら）みは、野党の非難を浴びたに A、全国民の反感までも B てしまった。

☐ とどまらず

- ◆ 「～にとどまらず、～する」、それで終わらないで、さらに、～する、の意味である。
  - 若い頃大学に進学できなかった主婦の A 子さんは、放送大学で、勉強して見事に卒業し、学士になりましたが、A 子さんは、これにとどまらず、今度は大学院を受験する予定です。

☐ かつ

- ◆ 「反感をかう」は相手を不愉快にするようなことを言ったり、したりすること。
  - 貴ノ花の婚約解消は若い女性の反感をかった。
  - 貴ノ花の記者会見を見た若い女性は反感をいだいた。

176. 癌というのは、急に発病するという種類の疾病（しっぺい）ではなく、日一日と、患者の健康を A、やっかいな B の病である。

☐ A むしばむ; B 不治（ふじ）

- ◆ 「蝕む」少しずつ、体や、心を悪くしていくこと
  - 麻薬に心も体も蝕まれた人々を、救うために、各自治体で、彼らを受け入れる施設を作ったらどうだろうか。
  - 競争社会は人間の心を知らず知らずにむしばんで、やさしさを失わせている。

177. この辺は冬はひとけのないさびしい町だが、夏は海水浴シーズンになると派手な水着の若者たちで\_。

☐ あふれる／にぎあう

- ◆ いっぱいになる、という意味
  - 4月になると、キャンパスは進入学生の新しい自転車であふれる。
  - 電気屋には、値下げした商品があふれているのに、客はまばらだ。

178. イギリスのハイド・パークでは、毎日、見知らぬもの同士が議論になっている。

☐ 花を咲かせ

◆ 「花を咲かせる」で「話しがもりあがる」「話しを楽しむ」

- 卒業後20年たって、同窓会がひらかれ、思い出話に花をさかせました。
- サラリーマンは仕事の後、同僚と一杯飲みながら、仕事の話、特にボスの悪口、に花を咲かせて、気晴らしをするようだ。
- 噂話に花を咲かせている間は、結構楽しいものだが、あとでむなしくなる。

179. 小さなタバコの火が原因で山一帯が火のなになった。

☐ 海

◆ 一面に広がって見えるものを、「海」とたとえる。「火の海」「雲の海」など、限られた表現に使う。

- 飛行機から見る真っ白な雲海（うんかい）は、幻想的だ。
- あっという間に、火の海となり、逃げ出せなくなってしまったらしい。

180. 木造の家などは一度火がつくと、うちに灰となっていく。

☐ みるみる

◆ 「みるみるうちに」は、「見ているうちに」という意味で、変化の速いことをいう。

- みるみるうちに痩せていった。
- さすが、プロだけあって、みるみるうちにデコレーションケーキを仕上げてしまった。
- いつもいつも日本語の教科書を抱えていただけあって、みるみるうちに、日本語が上達した。

181. ものすごいとは A には B が、こんなにすごいとは思わなかったよ。

☐ A 聞くには; B 聞いていたが / A 耳には; B していたが

◆ 「～するには～たが」「～することは～たが」で、一応～したが、その行為についてはあまり効果を期待していなかったとか、あまり本気ではなかったというような気持ちを表現している。

- スピーチコンテストに総理大臣が来るらしいとは聞くには聞いていたが、まさか本当に来るとは思っていなかった。
- 今週文法のテストがあるという掲示を見るには見ていたが、勉強する時間がなかった。
- A：論文は書けた？

B：うーん。書いたことは書いたけど。（これじゃあ、だめだなあ。）

A：ねえ、佐藤先生に頼んでくれた？

B：うん、頼むには頼んでおいたけど、やって下さるかどうかは、わかんない

いよ。

182. \_と違ってしたことが、かえって、あの人を不幸にしまった。

☐ よかれ

◆「よかれ」と同じ意味で「よかれかし」。「良くあれ」という文語。「よかれあしかれ」で、「良くも悪くも」「良くても悪くても」「どっちみち」の意味。

- 政治改革法案は、よかれあしかれ成立させてやってみるしかない、というのが大方の国民の意見だった。

- 母親は誰でも子供のためによかれと願って行動している。

183. この次のテストは、その辺の本に書いてあったことをいいかげんに書いて、\_にこそう。

☐ お茶を

◆「お茶を濁（にご）す」で、「ごまかす」「あいまいにする」という意味。

- 女性差別に対する批判に応じて、政府は雇用均等法を作ったが、このような抜け穴の多いものでお茶を濁されては、困る。

- 返事に困って、どうやってお茶をにごそうかと思案した。

184. 親に実力以上の期待を\_た子供達の自殺が増えている。

☐ かけられ／よせられ

- 日本中の人々が、伊藤みどりに金メダルの期待をかけた。

- 金メダルの期待がかけられて、彼女は、プレッシャーを非常に強く感じていたらしい。

- 国民は政治が新しい方向に進むよう、新内閣に期待を寄せている。

◆「かける」は色々な意味で使われている。どんなものがあるか？かける（自動詞）←→かかる（他動詞）

- ハンガーにコートを掛ける。

- 毛布をかけて寝る。

- 鍵をかける。

- 塩と胡椒（こしょう）をかけて食べる。

- 焚火（たきび）に水をかけて消す。

- そんなに高いお金をかけてまで買いたくない。

- 電話をかける。

- アイロンをかける。

- 気にかける。／心にかける。

- 心配をかける。

- 橋を架ける。

- 1000円でも賭けているのと、いないのとでは、レースを見るとき真剣さが違うだろう。

185. この喫茶店には、コーヒーの香りだけでなく、店の雰囲気も\_に来ている客が多い。

☐ 味わい

◆「酒を味わう」、のように、口に入れるものの味を感じ取る、楽しむというのが元々の意味で、他に、雰囲気を味わう、苦しみを味わう、詩を味わう、のように、飲食以外にも使う。

- 挫折感（ざせつかん）を味わってからというもの、弱い立場の人に、やさしい気持ちを持つようになった。
- 日本料理は目でも味わうものです。
- 癌になって、死の恐怖を味わってからというもの、生をより強く味わえるようになった。

186. 赤ちゃんが産まれて初めて、父親としての実感が\_てきた。

☐ 湧（わ）い

◆「湧く」というのは、地下水が地面の下から表面に出て来るような様子を言う。又、うじ（小さい虫）が発生する、という意味も。「実感が湧く」というのは、それまで、夢みたいで、あまり本当のことではないようだったのが、本当のこととして感じられるようになる、という意味。「興味が湧く」「自信が湧く」

- 貧しかった村に、温泉が湧き出して、その村は急に観光客で賑わいだした。
- A：優勝おめでとう。うれしいでしょう。  
B：ええ、でも、まだ実感が湧かなくて。
- バリダンスを見て、インドネシアの文化に興味が湧いてきた。
- 皆に褒（ほ）められて自信が湧いてきた。

187. 私は料理はしない\_ないが、一人のときは面倒なので、たいてい外で食べる。

☐ ことも／わけでも／でも

◆「～ないこともないが、....」「～ないわけでもないが、....」で、「たまには、多少は、～するが、しかし....」という、部分肯定の意味を表す。

- 貯金しないこともないが、たいていは、あまらないですね。
- 逃げようと思えば、逃げられないこともなかったが、私は、そこにとどまって、謝（あやま）った。
- 朝、ごはんを食べないわけでもないが、パンとコーヒーのことが多いです。

188. あの人は東京へ行った\_で、もうここにはいないそうだ。

☐ とのこと

◆「とのこと」は伝聞の表現

- A：木村先生から先ほど、電話がありました。木村先生は、明日の会議に欠席なさるとのことです。  
B：ああ、そうですか。ありがとう。
- メモ：田中さんは、午後1：00に到着するとのこと

189. 彼は呼ばれ A しない B、黙って私の部屋に入ってきた。

☐ A も; B のに

- ◆ 「動詞（ます形）もしないのに」は「動詞（て形）もいないのに」と同じような意味。この場合「呼ばれてもいないのに」と同じ。普通は、呼ばれてから部屋に入ることになっているのに、呼ばれていないのに入ってきた、という意味。「も」はその気持ちを強めている。

- 読みもしないのに、その本を批判している。
- 会いもしないのに、まるで会ったかのように話しているなんて。
- 頼みもしないのに、やってくれるなんて、あの人おせっかいだね。

190. 本当によく勉強した、よい成績がとれたのだ。

☐ からこそ

- ◆ 理由表現の「から」＋取り立てて強調する「こそ」で、色々な理由があるだろうが、この理由がなかったら、成り立たなかった、という気持ちを表現。特に、強調したい気持ちの背景には、通常は無視されたり、逆の効果の方が考えられ易い場合などがある。

○ 失敗の経験があったからこそ、成功できた。

- みなさんの応援があったからこそ、ここまでがんばれました。
- 歳をとっているからこそ、明るい派手な色の服を着たほうがいい。
- 寒いからこそ、外に出て運動しよう。

191. 驚く、よろこぶ、会場は大騒ぎだった。

☐ やら

- ◆ 話しことば。列挙するとき使う。

- 急に決まった企画だったので、スポンサーをさがすやら、人をさがすやら、忙しかった。
- 台風で、かわらやら看板やら飛んできた。

192. 一つ一つ片付けていかないには、収まらない。

☐ こと

- ◆ 「～ないことには... できない」で、「もし～なかったら、... できない」という意味になり、～することが、必要だと示す表現。この場合、一つ一つ片づけることが、必要で、そうしなかったら、解決できない、ということ。

- 本人に直接聞いてみないことには、本当のことは分からない。

193. どういうの吹き回しなのでしょう。あの人がお歳暮を持ってくるなんて、...。

☐ 風

- ◆ 「風の吹き回し」ものごとの状況のこと。どうして、このような状況になったのか、と予測に反した人の行為（悪→良）のときによく使う。

- いつも怖い顔をした木村先生が、今日は冗談ばかり言っている。どういう風の吹き回しなんだろう。
  - どういう風の吹き回しか、山下さんが電話をくれた。
194. 大きくなったら、\_ても人様のご迷惑になるような人になってはなりませんよ。
- ☐ まちがっ／まちがえ
- ◆ 「まちがっても.... ない」と否定とつながる。不注意で何か間違えるようなことがあったとしても、それでもだめだ、という気持ち。どんなことがあっても。
- まちがっても、そんな格好して、外に出て行かないでよ。
195. 国のお金を使い込むなんて、あの人は\_総理大臣なんかではない。
- ☐ (到底) とうてい
- ◆ 「とうてい.... ない」で、どんなにしても、どうしても、.... ではない。
- あの人は頭もいいし、よく勉強しているし、私なんかとうていかなわない。
  - あの家の建築はずいぶん時間がかかっていますね。3月に完成なんて、とうてい無理ですね。
196. 悲しみの\_、泣くこともできず、無表情で座り込んでしまった。
- ☐ あまり
- ◆ 寒さのあまり、うれしさのあまり、うれしいあまり、急ぐあまり、かわいいあまり、などのように、〈名詞〉のあまり〈動詞・形容詞・な形容詞 連体形〉あまりで、心に関係する状態で、過度な程度を言って、それが原因で起こることを言う。
- 小さい頃から、かわいいあまり、あまり強く叱らなかったのが、弱々しい子供になってしまった。
  - 電車に間に合うように急いだあまり、転んでしまった。
197. 所得税の減税をする\_で、その財源確保のために消費税を増税した。
- ☐ 一方
- ◆ 一方(で)
- 子供の教育では、叱る一方で、ほめることが大切だ。
  - 読解の練習では、精読して一文ずつ読む一方で、ざっと読んで、全体の内容を把握する練習も必要だ。
- \* 接続詞
- 王子は狩りにでかけた。一方、王女はショッピングに出かけた。
- \* そればかりする、という意味の使い方。
- あの人は食べ物には手を出さず、飲む一方だ。
198. こうなった\_は、思い切ったリストラをして、経営を立て直すしかない。
- ☐ 上／以上
- ◆ ある状況が決まった状態になっていて、それであるなら、こうする、こうなる

という表現。

- 大学院を受験すると決めた上は、死にものぐるいで勉強する覚悟です。

199. 飲み\_のコーヒーをコンピュータの横に置いて仕事をしていたら、こぼしてしまった。

☐ かけ

- ◆ 行為・変化の途中で中断されている状態を言う。未完了を表す。

- A：ねえ、その本を貸してくれない？  
B：うん、いいよ。でも、今、読みかけなの。終わってからでいい？
- 船の火災を消そうとしているうちに、船は傾いて、沈みかけた。
- テーブルの上に食べかけのごはんが置いたままになっていた。
- そのことを話そうと思って、言いかけたら、ほかの人が違う意見を言ったので、そのまま言いそびれてしまった。
- 乗りかかった船ですね。いいでしょう。手伝いましょう。

200. 超能力で犯人を捜し出せるなどというのは、信じ\_。

☐ がたい、られない

- ◆ 「～かたい」というのはそうするのが難しい、という意味。これと反対の意味で、「たやすく信じられる」の意味で、「信じるに難（かた）くない」という文語的な書き言葉がある。
- 松島旅行で海に落ちたのは忘れがたい思い出となった。
- このセーターはもう穴もあいているし、縮んでいるから、着られないが、母の編んだものだけに捨てがたい。
- 今回の税制改革の主導権をとったのは大蔵省だということは想像に難くない。





付録 A

推薦するもの



## 付録 B

## 英訳

101. It would be impossible to go out in such a fierce snowstorm, even if I tried.
102. Even if I complained to the likes of a [company] president such as him/her, he/she wouldn't listen.
103. He/she sent us one letter, and we haven't heard a word from him/her since.
104. It's a waste to leave this room unused.
105. His death will be mourned all the more deeply because he was the only painter born during the Meiji era.
106. My carelessness caused a child to be seriously injured. (My carelessness inflicted serious injury on a child.)
107. Even though he had caught a cold, he came in first in the [long-distance] race.
108. If you're going to visit him/her in the hospital, wait until he/she gets a little better.
109. Since then, nuclear power has come to attract attention as a new [form of] energy.
110. I almost left my umbrella on the train, you know.
111. I had a terrible time making up my mind whether to have soba (buckwheat noodles) or udon (wheat noodles), and I finally ended up having curry and rice.
112. On a hot summer day, nothing could be better than drinking cold beer in a beer garden.
113. Just what effect did these scientific-cultural phenomena have on human beings?
114. Whether you go or not, it doesn't matter to me. (Whether you go or not has nothing to do with me.)
115. The bus is ready and waiting to leave, except that Yamada-san isn't here yet.
116. He turned to me with an expression verging on anger and said, "What brought you here?"
117. Even if the sky is cloudy, it isn't [bad] enough for you to take an umbrella with you.
118. I didn't marry Kyoko because I wanted her inheritance or anything.
119. A "Thank you very much. This is a gift to show my appreciation..."  
 B "That's really not necessary." (= "Such a gift isn't at all necessary.")  
 A "Then, could you at least tell me your name, please?"
120. The lost boy burst into tears the instant he saw his mother, who had come to pick him up.
121. I ran as hard as I could so as not to miss the train, and I made it.

122. You're not a child [anymore], and you can't go on eating kiddie lunches forever.
123. Although I'm studying very hard, my grades aren't improving the way they should.
124. I have an entrance examination tomorrow, so I don't think I'll get much sleep tonight.
125. That person appears to have already finished his meal and is having a cigarette with his coffee.
126. The opinion of the minority should be valued, but in the real world it tends to get ignored.
127. Now, at that dealer's, you can buy a Benz for 360,000 yen. Of course, though, it doesn't have an engine.
128. Not only human societies but even monkey societies have a hierarchy of their own.
129. It would be hard enough to finish this job in three days, so telling us to finish it in half a day is absolutely crazy.
130. That person has such a look on his face, but it's not by any means because he's angry. He always looks as if he's in a bad temper.
131. Believe it or not, this boy can read a book with more than three hundred pages in three minutes and then explain its contents!
132. After I was so kind to him/her, he/she could at least have said thank you.
133. Wouldn't it be a bit difficult to polish off three steaks and three plates of rice in an hour?
134. He is an idiot who can't be helped.
135. A "You saved my daughter's life(=My daughter owe you her life.). I wouldn't feel right if I didn't do something to thank you."  
B "Oh, no, please don't bother."
136. In your everyday life, you should refrain from behaviour that might invite misunderstanding.
137. The brothers' unseemly dispute over the inheritance continues.
138. Even if what you're saying is true, violence is wrong.
139. I hear that his illness is already past the point of curability, but let's pretend we don't know.
140. It isn't good for parents to butt in on children's quarrels.
141. It seems that autumn typhoons are frequently accompanied by heavy rain.
142. If he wants to cry, just let him cry. He'll probably cry himself out in a little while.
143. For now, I'll just pay you 3,000 yen. Please wait until the end of the month for the rest.
144. Some shops are friendly to customers, while others treat them coldly.
145. You know, if you scold a crying child thoughtlessly and excessively, it's not effective.
146. We'd rather buy a house than have to pay such high rent.
147. With the [signal] "Ready, go!" all of the competitors started off at once.
148. It is also conceivable that he stole it, but I don't want to think so.
149. Sorry to trouble you (=This may be a rather abrupt question), but could you tell me whether there is a public lavatory near here?
150. Examinations will be given class by class.
151. A child suddenly dashed out into the road, and I almost ran over and killed him/her.
152. It's not worth doing, at such a high risk.

- 
153. Stop [your] dawdling, and hurry up and go to school.
  154. Who do you want to tell this wonderful news to, first of all?
  155. I'd like to continue with this work, even if it results in a big loss.
  156. Whether you go on a trip or start a business of your own, spend this money on whatever you like.
  157. Since I've already done this much to prepare, now I have no choice but to carry it out.
  158. I've been very kind to him, but on top of that he even has the nerve to ask me for money...I'm at a loss for words.
  159. Even though he/she is always borrowing money from me, he/she says, "Mum, what would you like for a present?"—which of course he/she doesn't really mean.
  160. I had thought that person was respected by everyone, but now I know I misjudged him/her completely. What an awful thing he/she did!
  161. This product is on offer at a bargain price, made possible only by direct delivery from the producer.
  162. This is an ideal reference book for exam preparation.
  163. Since he is trying so desperately to tell his story, it can't all be a pack of lies.
  164. You've worked so hard up till now, and now you're going to quit? Don't be silly!
  165. Even if it's "all-you-can-eat," you'll probably only be able to finish up three plates at the very most, no matter how much you eat.
  166. If goods are priced too highly, they won't sell well.
  167. There's such a big difference of opinion between us that it's not even worth mentioning.
  168. No matter how hard I try, I'll end up being called names.
  169. Because nobody was kind enough to do it for me, I had no choice but to do it myself.
  170. It seems that the project isn't proceeding according to plan because of insufficient funds, and because of outside interference as well.
  171. When all is said and done, in the end you can trust only yourself.
  172. I'm not really sure, but I think the conversation was something about the question of pensions...
  173. I can tell you, it was so hugely amusing that I almost died laughing.
  174. I hear they were discussing so important a matter alone together, in whispers!
  175. This politician's scheme met with the criticism of the opposition parties and, furthermore, provoked the antipathy of the entire nation.
  176. Cancer is not the sort of illness which people catch all of a sudden; it's a complicated and incurable disease which gnaws away day by day at the health of the patient.
  177. In winter, this place is a lonesome and deserted town, but in the summer, when the swimming season opens, it livens up with young people in colourful swimsuits.
  178. At Hyde Park in England, strangers engage each other in lively discussions every day.
  179. The whole mountain turned into a sea of fire, all because of the tiny flame of a cigarette.
  180. A wooden house, for instance, is reduced to ashes in an instant once it catches fire.
  181. Certainly I'd heard it was awful, but I really didn't expect it to be this horrendous.
  182. Although I did it because I thought it was a good thing to do, it ended up making that person all the more unhappy.

183. For the next test, I'm just going to write down whatever any old book says and fake my way through.
184. There are more and more suicides among the children of parents who expect too much of them.
185. This cafe has many customers who come to savour not only the smell of its coffee but also the atmosphere of the place.
186. It was not until our baby was born that I actually started to feel like a father (=that the actual feeling of being a father welled up in me).
187. It's not that I don't cook at all, but when I'm alone it's a nuisance so I usually eat out.
188. I hear that person has gone to Tokyo and doesn't live here any more.
189. He came into my room silently, without even being invited.
190. Purely and simply because I studied very hard, I was able to get a good grade.
191. What with all the surprise and rejoicing, the place was in an uproar.
192. I can't get things sorted out unless I deal with them one at a time.
193. I can't figure out what's going on. That person turned up with a year-end gift ("oseibo")!
194. When you grow up, you must not become the kind of person who causes nuisance to others, even by mistake.
195. That person is no prime minister, after he/she went so far as to embezzle public money.
196. Carried away by her sorrow, she couldn't even cry; she just squatted down without any expression on her face.
197. [The government] lowered income taxes, but meanwhile it raised the consumption tax, in order to guarantee its financial resources.
198. Now that things have come to this, we have no choice but to do a drastic restructuring and reorganize management.
199. I put a half-finished cup of coffee beside the computer while I was working, but I accidentally spilled it.
200. It's hard to believe that they can hunt down criminals by means of extrasensory perception.

# 索引

ああだこうだ, 32  
 あげく, 9  
 あしらう, 24  
 味わう, 36  
 あながち, 30  
 あふれる, 33  
 あまり, 31, 38  
 危うく, 27  
 あれだけ, 19  
 あんな, 17, 29  
 あんなに, 19  
 いいかげん, 35  
 いくら, 5  
 意向の表現, 10  
 以上, 38  
 一斉に, 26  
 いっそ, 25  
 いっそのこと, 25  
 いったい〜であろうか, 10  
 一時も, 3  
 一方, 38  
 いの一番, 28  
 今, 31  
 いまさら, 31  
 いまになって, 31  
 上, 38  
 上に, 29, 32  
 うちに, 34  
 生まれつき, 17  
 海, 34  
 うむ, 21  
 うれゆき, 31  
 影響を与える, 10  
 影響を及ぼす, 10  
 お〜する, 26  
 おく, 6  
 おち, 31  
 おちゃをにぎす, 35  
 驚きの表現, 18  
 お目にかかれない, 4  
 思い切って, 25  
 思われる, 32  
 およばない, 20  
 及ぼす, 10  
 おろか, 5

かえって, 35  
 かかる, 39  
 限る, 10  
 かけ, 39  
 かける, 35, 39  
 風の吹き回し, 37  
 仮定の表現, 23  
 必ずしも, 30  
 可能の表現, 3-5, 26, 39  
 から, 8  
 からこそ, 37  
 関係ある, 10  
 関係ない, 10  
 がたい, 39  
 がち, 15  
 気がおさまらない, 20  
 気がすまない, 20  
 期待をかける, 35  
 期待を寄せる, 35  
 きゅうに, 27  
 きり, 6, 33  
 きる, 19  
 疑問詞, 32  
 くせ, 29  
 くち, 22  
 口出しをする, 22  
 口をはさむ, 22  
 ぐずぐず, 27  
 ぐらい, 19, 31  
 敬語, 26  
 限度の表現, 19, 31  
 心にもない, 29  
 こそあど, 5, 17, 19, 23, 27, 29, 38  
 こそこそ, 33  
 こと, 11, 18, 26, 28, 36-38  
 ことには, 37  
 ことは〜だが, 34  
 こむ, 38  
 これだけ, 19  
 こんな, 25  
 こんなに, 19, 34  
 こんなに〜では, 5  
 ございます, 26  
 ごと, 27  
 さえ, 5, 17

さしあたって, 24  
 さすが, 4  
 〜させておく, 6  
 させておく, 23  
 させてしまう, 7  
 さんざん, 9  
 し, 4, 13  
 使役, 6, 7, 17, 23, 33  
 しか, 29  
 しかたなく, 32  
 しまう, 3, 7, 29, 39  
 自動詞と他動詞, 35  
 自発, 6, 26, 32  
 じゃあるまいし, 13  
 条件の表現, 34  
 過ぎない, 4  
 すぐ, 12  
 過ごせない, 3  
 するのがおちだ, 31  
 ず, 38  
 せいぜい, 31  
 せきのやま, 31  
 そう, 26, 36  
 そうになる, 27  
 そしらぬ, 22  
 そのうち, 23  
 その辺, 35  
 そんなに, 27  
 たいてい, 36  
 たいらげる, 19  
 ただけに, 6  
 ただし, 16  
 たところで, 5  
 他動詞代用使役, 6  
 たらよさそうなものだ, 19  
 だけ, 4, 6, 10, 19, 32, 33  
 だけあって, 4  
 だけでなく, 32, 36  
 だす, 12  
 出す, 27  
 注目を浴びる, 8  
 ちょっと, 9  
 使い果たす, 19  
 つかぬこと, 26  
 尽くす, 5, 19

ていく, 34  
 程度の表現, 19  
 てから, 8  
 てくる, 27  
 てでも, 28  
 てまで, 27, 28, 32  
 ても, 5, 14, 31, 38  
 てもいないのに, 37  
 てもよさそうなのに, 19  
 で, 19  
 ではありませんか, 18  
 でも, 28, 36  
 と, 12, 13  
 という, 33  
 というのは, 33, 39  
 といっても, 31  
 とうてい, 38  
 とかく, 15  
 ところ, 5, 9, 27  
 ところだった, 27  
 として, 8  
 とたん, 29  
 とどまらず, 33  
 とにかく, 24  
 とのこと, 36  
 とはいっても, 16  
 ともすれば, 15  
 ともなう, 23  
 とりあえず, 24  
 取り立て, 27, 33, 34  
 どういう, 37  
 どうのこうの, 32  
 どんなに〜でも, 31  
 ないこともない, 36  
 ないでもない, 36  
 なおす, 38  
 ながら, 15  
 なしでは, 3  
 など, 4, 11, 12, 34, 39  
 なら, 8, 25  
 ならでは, 30  
 なり, 12, 28  
 なんか, 11, 12, 38  
 なんだかんだ, 32  
 なんて, 12, 17, 29, 31, 37, 38  
 なんとかかんとか, 32  
 なんのかんの, 32  
 に, 13  
 にかぎる, 10  
 にぎわう, 33  
 にしろ, 21  
 にせよ, 21  
 には〜だが, 34

には及びません, 20  
 にまで, 16  
 にもかかわらず, 7  
 ぬ, 11, 26  
 ぬばかり, 11  
 のなんの, 32  
 のに, 4, 14, 17, 37  
 のみ, 16  
 のみならず, 16  
 のんびり, 27  
 走りに走って, 13  
 はじめて, 36  
 話にならない, 31  
 花を咲かせる, 33  
 反感をかう, 33  
 ば, 23, 24  
 ばかり, 10, 11, 20, 32, 38  
 ばかりになっている, 10  
 控え, 14  
 控えて, 14  
 ひそひそ, 33  
 ひっす, 30  
 人が変わったように, 3  
 ひとけのない, 33  
 一つ一つ, 37  
 火の海, 34  
 評価の表現, 18  
 風, 22  
 不可欠, 30  
 ふくごうどうし, 38  
 複合動詞, 3, 12, 19, 24, 27, 38, 39  
 不治の病, 33  
 ふり, 22  
 べき, 5, 21  
 別に, 17  
 ほう, 25  
 ほうがいい, 25  
 ほうだい, 31  
 ほか, 4  
 ほど, 11, 27  
 まい, 4, 10, 13  
 まさか, 4, 30  
 まして, 17  
 まずさいしょ, 28  
 間違っても, 38  
 まっさき, 28  
 まで, 16, 27, 29, 33  
 間に合う, 13  
 まねく, 21  
 まるで, 29  
 まんざら, 30  
 見えて, 15  
 見知らぬもの, 33

見過ごす, 3  
 みそこなう, 29  
 耳にする, 34  
 見られない, 4  
 みるみるうちに, 34  
 蝕む, 33  
 むしろ, 25  
 夢中になる, 3  
 むやみに, 25  
 命令の表現, 5, 8, 13, 17, 27, 28  
 めぐって, 21  
 も, 37  
 もあれば、〜もある, 24  
 もう, 9, 29  
 もしないのに, 37  
 もするが、〜もする, 26  
 もたらず, 10, 23  
 もったいない, 6  
 もってこい, 30  
 もっとも, 16  
 もてなす, 24  
 もともと, 17  
 もの, 19, 29  
 ものが言えない, 29  
 やたらに, 25  
 やっぱり, 32  
 やむ, 24  
 やむをえず, 32  
 ややもすると, 15  
 やら, 37  
 やりもらい, 5  
 やるしかない, 29  
 よう, 3, 5, 8, 10, 20, 23  
 ようと〜まいと, 10  
 ようにも, 5  
 ようのない, 20  
 よかれ, 35  
 よかれあしかれ, 35  
 よさそう, 19  
 よさそうなものを, 19  
 よそおう, 22  
 呼ぶ, 21  
 よもや, 30  
 より, 4  
 よりほかない, 4  
 よる, 4  
 連用中止, 33  
 わく, 36  
 わけ, 3, 5, 14, 16-18, 24, 28, 36  
 わけでもない, 36  
 わった, 12  
 んじゃない, 13  
 んばかり, 11, 32



Ten Sentences A Day for Eight Weeks  
Dictation Everyday  
Volume 3  
2025 年 10 月 7 日 第 1 版  
著者: 山元啓史  
©2018, Hilofumi Yamamoto

CARPE DIEM